

NEW CROWN



NEW CROWN の教科書サイズはAB判です。



Welcome to
the world of
NEW CROWN!

三省堂

この資料は、一般社団法人教科書協会「教科書発行者行動規範」に則って作成しております。

英語教育を通して、確かな学力、 国際社会に対応できる資質・能力と、 豊かな人間性を育成します

NEW CROWNが育てる4つの力

① ことばを使う力

ことばを使うことは、思いを伝えること。ことばを使って理解し、表現し、伝え合いながら、実際のコミュニケーションで活用できる確かな英語力を育成します。

② 他(人や文化など)とのかかわる力

かかわることは、互いを認め合うこと。さまざまな人や文化などに触れながら、社会の多様性を理解しかかわっていく力と、豊かな心を育成します。

③ 考える力

考えることは、自分と向き合うこと。さまざまな活動を通して、目的や場面、状況に応じてコミュニケーションを図る力と、論理的・批判的に考える力を育成します。

④ 学びに向かう力

学ぶことは、自分の可能性を広げること。多様な学び方を経験しながら、学ぶことを楽しむ心と、主体的・協働的に学ぶ力を育成します。





代表著者 根岸 雅史
(東京外国語大学)

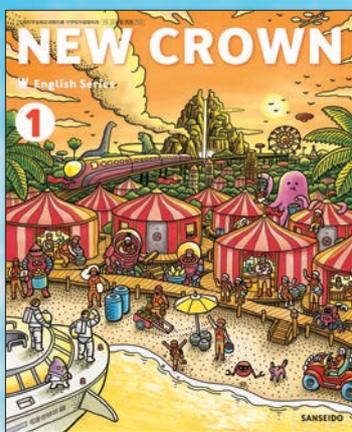


令和3年度版NEW CROWN (03NC) が完成しました。この教科書を使う子どもたちはどんな世界に生きることになるのでしょうか。この半世紀を考えただけでも、グローバル化は急速に進み、異文化との接触は一部の人々のものではなくなりました。03NCを手にする子どもたちが生きるのは、だれにでも異文化との接触が起こってしまう時代です。

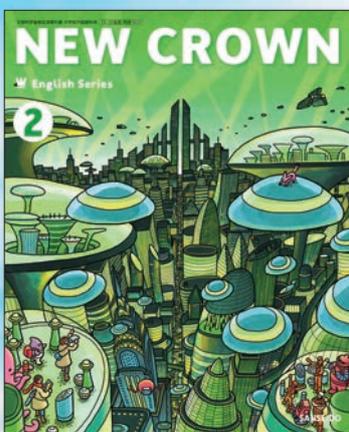
昭和・平成・令和と時代を駆け抜けてきたNEW CROWNを振り返ってみると、昭和から平成の前半は、題材にチャレンジした時代、平成の後半から令和は、言語活動にチャレンジした時代といえるでしょう。03NCにおいても骨太の題材にしっかりとした言語活動を肉づけしました。

また、NEW CROWNといえば、これまで深みのある題材で高い評価を得てきました。人権問題、平和教育、ことばや民族などの定評のある題材は、03NCでも引き継いでいます。3年の“Imagine to Act”は、中学校から飛び立つ生徒たちに向けた私たちからのメッセージです。

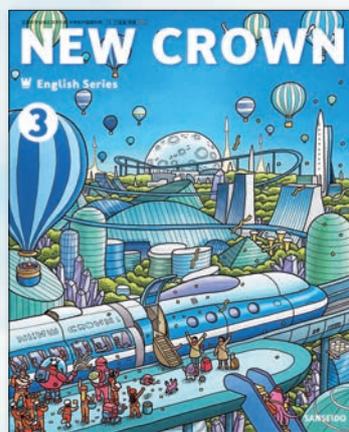
私たちは、この教科書で学んだ子どもたちが、来るグローバル化する世界を軽やかに駆け巡る姿を想像しています。



出会い



探求



旅立ち

表紙は、3年間の中学校生活で、さまざまな人や文化と出会い、新たな世界や社会を探求しながら学び、無限の可能性をひめた未来へとばたいてほしいという願いをこめ、「出会い」「探求」「旅立ち」をテーマとしています。



NEW CROWNの6つの特長



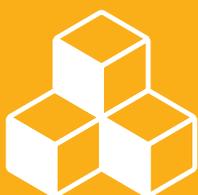
教えやすさ, 学びやすさを徹底的に
追求した教科書 pp.4~7

教科書の全体構成: とびら ▶ GET ▶ USE ▶ What Can I Do?



小学校での学びを活かし, 中学校の
学びへとスムーズに接続 (小中連携) pp.9~21

Hello, Everyone! p.10 / Starter pp.11~12 / Lesson 1.2.3 pp.13~21



知識・技能を習得し, 思考力・判断力・
表現力を育成するレッスン構成 pp.23~43

GET pp.26~27 / GET Plus pp.28~29 ▶ USE pp.30~35 / Take Action! pp.36~39



対話的な学びや深い学びを引き出す
充実した言語活動 pp.23~43

USE Read pp.30~31 / USE Write pp.32~33 / USE Speak pp.34~35
Take Action! Listen pp.36~37 / Take Action! Talk pp.38~39 / Project pp.40~43



生徒の知的好奇心にこたえる題材,
人間教育に資する題材 pp.45~51



主体的な学びをサポートし,
学びに向かう力を育てる工夫 pp.52~61

QRコード p.54 / ユニバーサルデザイン p.55 / 発音 Sounds p.56
For Self-study, 基本文のまとめ, いろいろな単語 p.57
他教科との連携 p.59 / 中高連携 p.60

03NCなるほどコラム

- ① 語彙のはなし p.8
- ② 文法のはなし p.22
- ③ キャラクターのはなし p.44



ことまなビューアで使用できる
デジタルコンテンツを体験できます。



- ① 学びの見通しを立てる
- ② 知識・技能を習得する
- ③ 思考力・判断力・表現力を養う
- ④ 学びをふり返る

- ねらいを意識して学習に取り組めるよう、各ページの役割を明確にしています
- 学びのプロセスを見える化し、学習の流れがわかりやすい構成になっています



- 🎧 聞いてみよう / POINT / 📖 Read
- 💬 話してみよう / Drill / ✍️ Write

- 1年前半は、小学校英語での体験をふり返りながら、円滑に中学校の学びへとつなぐレッスン構成になっています
- 小学校で体験した「聞く・話す」活動から導入し、文法事項の理解と練習、そして「読む・書く」活動へと展開していきます



GET (知識・技能) ▶ USE (思考力・判断力・表現力)

- GETでは、文法事項などの基礎的・基本的な知識と、それらを聞いたり、読んだり、話したり、書いたりして、活用できる技能を習得します
- USEでは、知識・技能を活用して、聞いたり、読んだり、話したり、書いたりする言語活動に取り組み、思考・判断・表現する力を身につけます



USE / Take Action! / Project

- 5領域のバランスに配慮した豊かな言語活動を配置しています
- さまざまな言語活動を通して、対話的な学びや深い学びを引き出します
- 目的や場面、状況に応じて、思考・判断・表現する力を養います



- 自然科学、環境、日本や他の国・地域の文化、生徒の感性に訴える物語など、個人の能力や創造性を伸ばす題材を扱っています



QRコード / 🗣️ Sounds / For Self-study

- QRコードを配置し、本文テキストや語句・表現などの音声を提供しています。また、話すこと[やり取り/発表]の活動のモデル動画を見ることができます
- 学びをふり返ったり、学び方を学んだりできる資料が充実しています

教えやすい・学びやすい

小中連携

レッスン構成

言語活動

題材

その他

教えやすい
学びやすい
教科書



1 学びの見通しを立てる

2 基礎的

とびら

-> 本書 p.24

GET

各ページの役割を
明確にし、学びの
プロセスを見える化

Lesson 1の前に
設定したStarterでは、
1年は小学校の復習、
2,3年は前学年までの
復習ができます

Lesson 5

School Life in the U.S.A.

① Where does this bus go?
② What do you like about your school?

マークがアメリカの学校生活を紹介します。日本の学校生活とのちがいや共通点は何でしょうか。また、アメリカの中学生はどのように放課後過ごしているのでしょうか。

GET POINT	USE Read	USE Write
Tom is studying math now. Is Tom studying math now?	アメリカに送られていりから届いたメールを読む。	アメリカの中学生に日本の中学校生活を紹介するメールを書く。

eighty three 83

Lesson 5

GET Part 1

マークがクラスのみ

Student
school. Ev
Look.
He is holdi
her gym sh

- life (p.83)
- choose
- own
- class(es)
- different
- schedule
- flute
- carry(ing)

Test Words

POINT

Tom stu
Tom is

every day と
いを考えなが
文を比べよう。

84 eighty-four



GET
Plus

ベッドを整えてくれませんか

Dialog

昨日自宅で、マークのお父さんとマーク

Mark, I need some help. C

Example 3

マークのお父さんになったつもりで、マ

Dialog

Example 3

Dialogと辞書参照にペアで会話しよう。
p.138のWord Bankから動詞を1つ選んで、してほしいことを依頼したいと
応じたいよう。

A: Can you walk the dog?
B: I'm sorry, but I can't. I'm busy now.

Write

上で依頼した文章をこころ。

Try

ペアで、してほしいことを依頼したり、応じたりして、自由に会話

158 see yourself and others right

3 知識・技能を活用し、思考力・判断力・表現力を養う

USE
Read

→ 本書 pp.30~31

USE
Write

→ 本書 pp.32~33

Lesson 5
USE Read

From: Lisa Smith
To: My Friends in Japan
Subject: Life after School

Dear friends,

Here are pictures of my friend and me. We do many things after school.

I am in the first picture. I am working as a volunteer. I am reading a book with a child. She is lovely.



SETTING
花子たちのクラスに、アメリカに住んでいるリサから、アメリカの中学校生活について書かれたメールが送られてきました。

STAGE 1 Get Ready
メールを読む前に確認しよう。
(1) アメリカの中学校生活について知っていることを話そう。
(2) 写真を見て、写っている人たちが何をしているか考えよう。

STAGE 2 Read
メールの概要をとらえよう。
Guide 1
このメールは何について書かれたものですか。
Guide 2
(1) 88ページの写真を写真でリサがしていることを説明する英文を書きよう。
(2) 89ページの写真でケンがしていることを説明する英文を漢語を引よう。

Lesson 5
USE Write

学校生活や行事を紹介するメールを書く

リサから「日本の学校について教えてほしい」というメールが届きました。写真を添えて、日本の学校生活や行事などを紹介するメールを書く。

1. Follow the Steps 随がメールを書いています。どんなことを考えながら書いているか確認しよう。

Step 1 内容を考える

紹介したいこと	説明	写真について
<input type="checkbox"/> 球技大会 <input type="checkbox"/> 音楽部の活動 <input type="checkbox"/> 入学式 <input type="checkbox"/> 制服 <input type="checkbox"/> 体育の授業 <input type="checkbox"/> 給食	<input type="checkbox"/> 全校生徒が同じメニューの食事をする <input type="checkbox"/> メニューは日替わり <input type="checkbox"/> みんな教室で食べる <input type="checkbox"/> 栄養士が献立を考えている	<input type="checkbox"/> 友だちがカレーを食べているところ <input type="checkbox"/> わかば中学校では6人1グループの席ごとに机をつなげる <input type="checkbox"/> 飲み物は主に牛乳 <input type="checkbox"/> カレーの日はナンが出ることもある

Step 2 考えを整理する

Opening	紹介すること	This is a picture of our school lunch.
Body	説明、写真について	- My friends are eating curry. - eat in the classroom - everyone, eat the same thing
Closing	ひとこと	I like our school lunch very much.

Step 3 文章を書く

Our School Lunch

This is a picture of our school lunch. We are eating curry. We eat school lunch in the classroom. Everyone eats the same thing. I like our school lunch very much.



Check 設定を確認しよう。
(目的のため) 日本語について (何をする)

What's a good topic?
思い付いたことをまず書かない。思い付いた話題や行事を紹介しよう。

What can I say about it?
写真について説明するとき、何を説明した方がいいかな。

What can I write?
アメリカと異なるところを、アメリカの文化では食えないもの、そなにと。

How can I write?
「- を使っているところ」が、いいかな。

Now, let's write!
- 写真に写っていないけれど、書いたから My friends...
- 主語が everyone のとき

Step 0 の日本語のメモも、上げたものにチェック。

Step 0 の英文のうち、ほとんどの部分ですか、

Reading for Fun

→ 本書 p.50

READING FOR FUN

Alice and Humpty Dumpty

Alice is sitting by the river. Suddenly she saw a white rabbit. The rabbit looked at his watch and said, "I'm late, I'm late." He ran into a hole in the ground and disappeared. She followed him.

Alice fell into the hole. Down, down, down, she fell.



144 uncopyrighted part by law

Reading for Information

→ 本書 p.51

Reading for Information 1 文房具のチラシ

Stationery Summer SALE Up to 50% off

Get ready for the upcoming semester!

Buy 3 Get 1 Free!

- Pencils \$2
- Erasers \$1
- Pens \$3
- Decorative Tape \$5
- Rulers \$3
- Marker Pens \$4
- Clips \$2
- Cards \$3
- Pencil Cases \$2
- Notebooks \$2
- Albums \$25 → \$15
- Staplers \$10 → \$7

Get 5% off with a membership!

サイト、冊、花、アミューズメントプレゼントをあげることになりました。手帳は 25 ドルです。チラシを戻して、割引をプレゼントしたらよいかな。

Kate いろいろな色のペンとボールペンのセットが、 「お気に入りの色」が、 「好きな色」が、	Riku 「お気に入りの色」が、 「好きな色」が、
Hana 「お気に入りの色」が、 「好きな色」が、	Dinu 「お気に入りの色」が、 「好きな色」が、

145 uncopyrighted part by law

Take Action! Listen

→ 本書 pp.36~37

Take Action! Listen

映画の紹介

「魔法の旅」の紹介

魔法は、マリアとマリアの物語を題材に作られた。魔法は、魔法の杖で魔法をかける。魔法は、魔法の杖で魔法をかける。魔法は、魔法の杖で魔法をかける。

146 uncopyrighted part by law

4 学びをふり返る

USE
Speak

→ 本書 pp.34~35

Project

→ 本書 pp.40~43

Lesson 7

USE Speak

偉人を紹介しよう

世界中の中学生が参加するスピーチコンテスト「A Great Person in History」に参加することになりました。好きな偉人やあこがれの偉人について発表しよう。

1. Watch 陸のスピーチ動画を見よう。

(1) 発表するときに、陸がどんな工夫をしているか考えよう。
(2) 発表のあとにどんな質問が出たか確認しよう。

2. Read & Think 陸のスピーチ原稿と、陸が書き加えたメモを見て、どんな工夫をしているか考えよう。

Opening

Hi. / I'm Riku from Japan. /

Albert Einstein is a great person. I respect him. /

Body

He was a great scientist / in the 20th century. /

He won / a Nobel Prize / in 1921. /

He had a strong passion / for science. /

Closing

Einstein is my hero. /

Tips for Speaking アイコンタクト

発表するときは原稿を見ずに、聞いている人たちとアイコンタクトをとろう。

- 1回の発表の中で、多くの人と目を合わせることを意識してみよう。
- 余裕が出たら、聞いている人たちの様子に合わせて、ゆっくり話したり、くり返したりしよう。

Check 設定を確認しよう。
(どこで) スピーチコンテスト「A Great Person in History」で (何について) (何をする)

3. Write & Speak 原稿を書いて発表しよう。

Step 1 ① 内容を考える

紹介する偉人

説明	理由	その他
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

Step 2 ② 考えを整理する

Opening	人物
Body	説明 理由
Closing	ひとこと

Step 3 ③ 文章を書く

(1) あなたが紹介したい偉人について、スピーチ原稿を書こう。
(2) 陸のスピーチ原稿 (p.120) に書かれたメモを参考に、あなたの原稿に発表用のメモを書こう。

Step 4 ④ 発表する

(1) 発表の練習をしよう。読みづらいところがあれば、メモを修正したり書き加えたりしよう。
(2) 発表のあとにどんな質問が出るか考え、その答えを用意しよう。
(3) クラスやグループで発表しよう。発表が終わったら、質問したり感想を言ったりしよう。

Idea Box

【職業】 writer 作家 singer 歌手 actor 俳優 inventor 発明家 doctor 医者 nurse 看護婦

【功績など】 help people in need 困っている人々を助ける make a new discovery 新発見をする take the first trip to ... 一先初めて旅行に行く write a beautiful poem 美しい詩を書く become a star overnight 一夜にしてスターになる

【性格など】 brave 勇敢な smart 賢い strict 厳しい 厳しい strong 強い patient がまん強い

Albert Einstein
アインシュタイン
Nobel Prize ノーベル賞
Nobel ノーベル(姓)

Take Action! Talk

→ 本書 pp.38~39

Work in Pairs

ABC ケーキはどこですか

How can I get to ABC cake shop?

Um, go straight on this street. Then turn left at the second corner.

Turn left at the second corner.

Yes. It's on your right.

I see. Thank you.

Work in Pairs

1. 上のネットをペアで読んでみよう。
2. 相手のネットをペアで読んで、A・Bの役割をペアで演じてみよう。

Sounds 真似のひびき

次の真似の音声を聞いて、手紙が上向きで書かれているときに手を上げ、下向きで書かれているときに手を下げ、真似たことを話し合おう。

A: Which do you drink for breakfast, milk, tea, or juice?
B: I drink orange juice.

A: Where did you go in Japan this year?
B: I went to Nagasaki, Takamatsu, and Nagasaki.

What Can I Do?

→ 本書 p.25

What Can I Do?

Listen 聞く

自分の好きな活動や習い事について、自分が必要とする情報を聞き取る必要がある。

自分の興味のあることについて、自分の好きな活動や習い事について、自分が必要とする情報を聞き取る必要がある。

自分の興味のあることについて、自分の好きな活動や習い事について、自分が必要とする情報を聞き取る必要がある。

Read 読む

自分の好きな活動や習い事について、自分が必要とする情報を聞き取る必要がある。

自分の好きな活動や習い事について、自分が必要とする情報を聞き取る必要がある。

自分の好きな活動や習い事について、自分が必要とする情報を聞き取る必要がある。

Write 書く

自分の好きな活動や習い事について、自分が必要とする情報を聞き取る必要がある。

自分の好きな活動や習い事について、自分が必要とする情報を聞き取る必要がある。

自分の好きな活動や習い事について、自分が必要とする情報を聞き取る必要がある。

教えるやすい・学ぶやすい

小中連携

レッスン構成

言語活動

題材

その他

語彙のはなし

発信語彙と受容語彙

新しい学習指導要領では、言語材料について、生徒の発達段階に合わせて、**受容**レベルの習得に留めるものと、**発信**レベルまで高めるものを見極めながら指導することが求められています。

03NCでは、*We Can!*の語彙リスト、*CEFR-J*(A1・A2)の語彙リスト、学習者コーパス等をかけ合わせて、小学校で学習したとみなす語彙(600~700語)と、中学校で学習する語彙(1,600~1,800語)を設定しています。

また、上記で設定した小学校、中学校の語彙に、発信語彙コーパスをかけ合わせることで、**小学校では281語**(右図①)、**中学校では601語**(右図③)を、全ての中学生にとっての発信語彙としました。



語彙の配置・配列

当該ページで出現する、中学校の新出語句(1,600~1,800語)と新出表現は、**側注(Words)**に提示しています。

また、**Words**では、中学校で学ぶ単語のうち、全ての中学生に**発信語彙**として身につけてほしい**601語**(上記図③)を太字で示しています。

Words

- live** 住んでいる
- city** 市
- now** 今は
- much** とても
- very much** とても
- turtle** カメ
- Ms. ...** 先生

Lucy Brown
ルーシー・ブラウン(名前)
London ロンドン(地名)
iguana イグアナ



小学校で聞いたり話したりした大切な語句だよ。くり返し練習しよう。

hi in animal(s) very at

小学校で聞いたり話したりした語彙のうち、全ての中学生に**発信語彙**として身につけてほしい再掲語の**281語**(上記図①)は、全て教科書本文中に扱っています。また、それらは、側注の中学校の新出語句とは別に、脚注に太字で提示しています。

スムーズな 小中連携 ①

小学校での学びを活かし、 中学校の学びへとスムーズに接続



▶ Hello, Everyone!

▶ Starter

- 小学校で体験した場面で話される会話を聞く
- アルファベットの文字の名称を発音する
- アルファベットの大文字・小文字を読む、書く
- 小学校で学んだ語句を使った会話を聞く
- 小学校で学んだ語句を使って話す

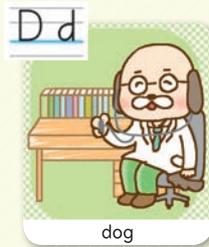
▶ Hello, Everyone! -> 本書 p.10

慣れ親しんだ場面で話される会話を聞く



▶ Starter 1 -> 本書 p.11

アルファベットを書く、文字や単語を声に出して読む



▶ Starter 2 3 -> 本書 p.12

身近な話題についての会話を聞く、大切な語句を使って話す

聞いてみよう



話してみよう

Months (月)



January



February



March



April



July



August



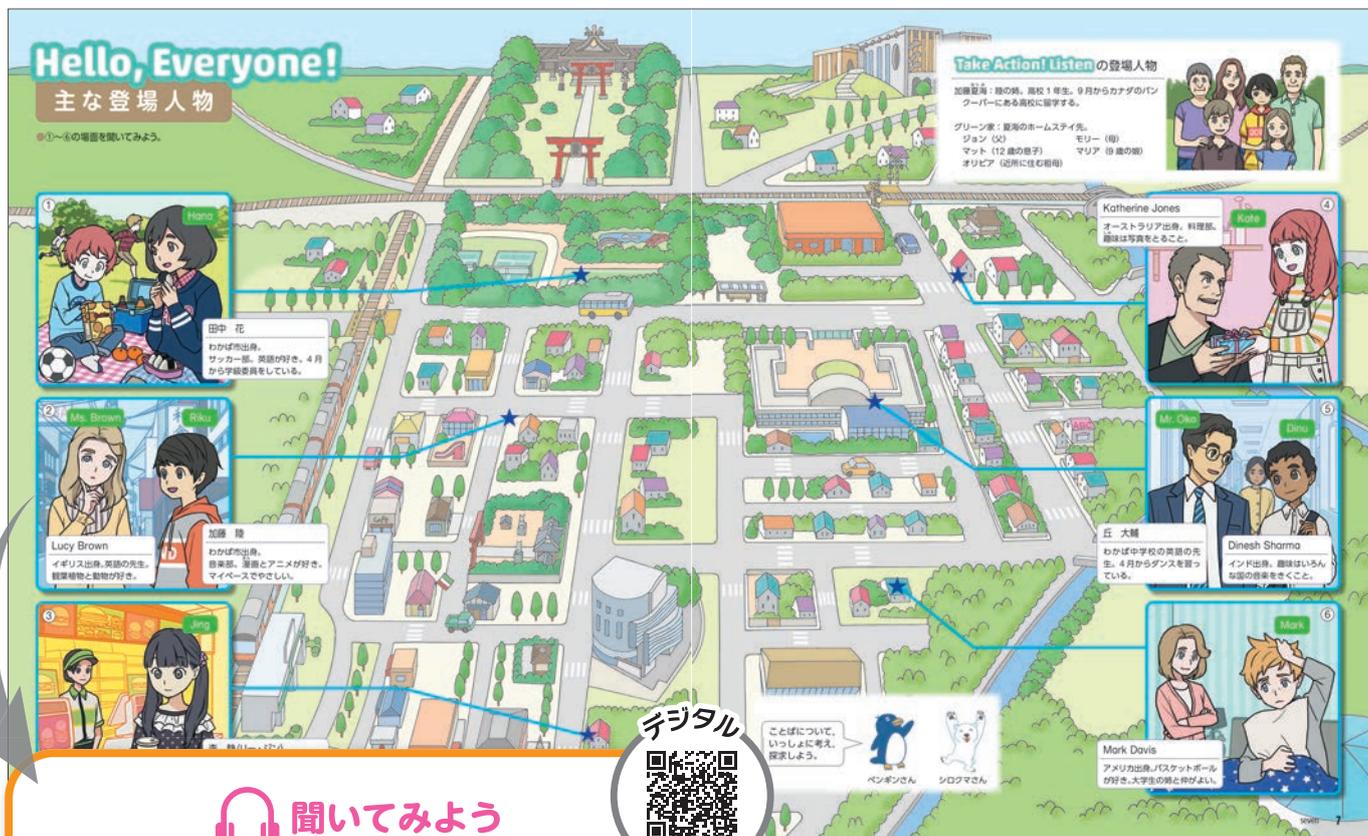
September



October

Hello, Everyone!

小学校で学んだことばの使用場面と語句・表現をふり返ります



聞いてみよう

①～⑥の小学校で体験した場面や似た状況での会話を聞いたり、見たりして、会話の場面と使われている語句・表現を確認し、これまでの学びをふり返ります。



① ピクニック【地域】
お昼ごはんについて話している。
Hana: ... Let's have our picnic here.
Boy: OK. What do you have?
Hana: I have four rice balls and three oranges.
Boy: I have cookies and drinks. ...

Hello, Everyone! の会話の場面

- ① **ピクニック【地域】**
お昼ごはんについて話している
- ② **道案内【社会】**
中学校への道順をたずねられ、道案内をしている
- ③ **買い物【社会】**
お店でハンバーガーを注文し、お金を払っている
- ④ **誕生日のお祝い【家庭】**
お父さんに誕生日プレゼントを渡している
- ⑤ **自己紹介【学校】**
転校先の学校で、初めて会う先生と話している
- ⑥ **あいさつ【家庭】**
日曜日の朝に起こしに来たお母さんと話している



小学校英語 ▶ NEW CROWN
リンク ①

【身近な話題】

小学校英語

地域や学校の行事、誕生日、教科、一日の生活、できること、行ってみたい国や地域、位置と場所、料理、値段、あこがれの人、日本文化、町や地域、夏休みの思い出、オリンピック・パラリンピック、小学校生活・思い出、将来の夢、職業、中学校生活・部活動

NEW CROWN

Hello, Everyone!・Starter : ピクニック、道案内、買い物、誕生日、自己紹介、行事／誕生日、時間割、習いごと、一日の生活、町や地域
Lesson 1 : 中学校生活、好きなことや得意なこと、部活動
Lesson 2 : 国際交流キャンプ、人物紹介、できること
Lesson 3 : インドからの転校生、町や地域、日本文化



小学校で学んだアルファベットと文字の読み方を繰り返します

Starter 1 英語の文字と音

- リズムに合わせて、アルファベットの名前や単語を発音しよう。
- 各アルファベットで始まる単語は、絵の中にくっつくかな。

活字体の大文字 ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ

- 4線の上にアルファベットの大きくて小さく書くか確認しよう。
- 小学校で出会った単語は、発音したり書いたりして練習しよう。

活字体の小文字 abcdefghijklmnopqrstuvwxyz

手書き文字(4線)

4線の上に、大文字と小文字を正しく書くことができているか確認します。

E e F f G g

大文字・小文字がきれいに書けるように設定された4線の間隔に合わせて開発した、生徒の手本となるオリジナルの**手書き文字書体**です。

標準配当時間：見開きで1時間

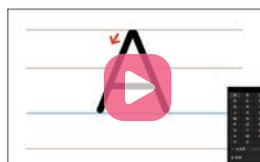


アルファベットの絵カードには、**小学校で学んだ単語**が散りばめられています。それらの単語を使ってゲームをして、小学校での単語の学習を確認します。

banana, bear, bed, boy

カードに示された語は、基本的な英語の音(子音、短母音、長母音、二重母音など)のほとんどをカバーしています。

アルファベットの書き方



アルファベットの書き順ムービーを見ながら、小学校で学んだ文字の書き方を繰り返します。

デジタル



小学校英語 ▶ NEW CROWN
リンク ②

「文字、符号」

小学校英語

文字：アルファベットの活字体の大文字・小文字／文字の読み方(名称[アルファベット読み])
符号：ピリオド、コンマ、クエスチョンマーク
ローマ字：訓令式とヘボン式
書き方：語と語の間隔

NEW CROWN

Starter 1：アルファベットの活字体の大文字・小文字／文字の読み方(名称[アルファベット読み]／音[音読み])
Lesson 1：符号(ピリオド、コンマ、クエスチョンマーク、アポストロフィー)／文(語と語の間隔)／語頭の大文字(固有名詞, I)
Lesson 2：ヘボン式ローマ字／単語(文字と文字の間隔)
Lesson 3：間違えやすいアルファベットの小文字

1年 Starter 2 3

チャンツ: 語句・表現を
リズムに合わせて
復習します。



小学校で学んだ身近なことについての会話と語句・表現をふり返ります

Starter 2 コミュニケーションを楽しもう (1)

聞いてみよう

ケイトと丘先生が、わがば中学校の行事予定表を見ながら話しています。いつ、どんな行事があるか聞いてみよう。

ケイトがバースデーパーティーの写真を見ながら丘先生と話しています。それぞれの誕生日について聞いてみよう。

話してみよう ペアやグループで、学校の行事や、あなたの誕生日について話してみよう。

聞いてみよう

綾とジンが、時刻表を見ながら話しています。何曜日に向の授業があるか、それぞれの授業が好きか聞いてみよう。

綾とジンが、スケジュール帳を見ながら話しています。何曜日にどんな習いごとをしているか聞いてみよう。

話してみよう ペアやグループで、好きな教科や、習いごとについて話してみよう。

Months (月)

January February March April May June
July August September October November December

Calendar (カレンダー)

4 April

Sunday	Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday	Saturday
	1 first	2 second	3 third	4 fourth	5 fifth	6 sixth
7 seventh	8 eighth	9 ninth	10 tenth	11 eleventh	12 twelfth	13 thirteenth

Days (曜日)

Sunday Monday Tuesday Wednesday Thursday Friday Saturday

Subjects (教科)

Japanese English math science social studies
music P.E. fine arts industrial arts and home economics moral education

Lessons (習いごと)

piano cooking calligraphy swimming tennis dance

Starter 2・3の語句・表現

Months(月)
Calendar (カレンダー)
Days(曜日)
Subjects(教科)
Lessons(習いごと)
A Day in My Life (私の1日)
Town(町)

標準配当時間：見開きで1時間

授業の流れ

聞いてみよう

小学校で体験した場面や似た状況での会話や発表を聞いたり、見たりして、これまでの学びをふり返ります。

誕生日について話している。

Kate: ... This is a photo of my birthday party last year.
Mr.Oka: Lovely. When is your birthday?
Kate: My birthday is tomorrow, April ninth.
Mr.Oka: Wow. Happy birthday!

話してみよう

「聞いてみよう」で確認した話題や会話の流れ、語句・表現を参考にして、ペアやグループで会話したり、発表したりします。

【期待する発話例】 話題: 誕生日

A: When is your birthday?
B: It's on February fourteenth. It's the same as Valentine's Day. How about you?
A: My birthday is August fifth.

小学校英語 ▶ NEW CROWN リンク ③

「言語の使用場面」

小学校英語

自己紹介, 人物紹介, 学校紹介, 地域や町紹介, 日本紹介, 家庭生活, 学校での行事や生活, 地域・社会での行事や生活, 道案内, 買い物, 電話

NEW CROWN

Hello, Everyone! : 道案内, 買い物, 自己紹介, あいさつ
Lesson 1 : 中学校生活, 自己紹介
Lesson 2 : 国際交流キャンプ, 自己紹介, 人物紹介
Lesson 3 : 転校生とのやり取り, 町や地域の紹介, 日本文化紹介



▶ Lesson
1・2・3

- 小学校で体験した場面で話される会話を聞く
- 小学校で体験したことのあるテーマについて話す
- 小学校で得たインプットをもとに、文法事項などを整理する
- 整理した文法事項などを使って練習する
- 身につけた文法事項などを活用して読む、書く

▶ Lesson 1 Part 1

1 聞いたり、話したりして、小学校での学びを振り返る → 本書 pp.14~15

🎧 聞いてみよう

💬 話してみよう



2 文法事項を整理し、練習する → 本書 pp.16~17

POINT



I am Tanaka Hana.
I am fine.

Drill



happy



sad



angry



thirsty

3 文法事項などを活用して、読んだり、書いたりする → 本書 pp.18~19

📖 Read

Wakaba J.H.S. Student Journal

Our New Teacher

Hi. I am Lucy Brown. I am from London. I live in Wakaba City now.

I like animals very much. I have a turtle and an iguana at home.

✍ Write

My Profile

▶ Lesson 2 Lesson 3 → 本書 pp.20~21

Lesson 1

Part 1 1

(1年)

小学校での学びを振り返り 身近なことについて聞い



授業の流れ



聞いてみよう

小学校で体験した場面や似た状況での会話や発表を聞いたり、見たりして、これまでの学びを振り返ります。

【音声スクリプト】

話題：自己紹介

Jing: I'm Jing. I'm from China.
I'm from Beijing in northeast China. I'm thirteen years old.
I'm a dancer in a pop group.
Mark: Oh, you're a dancer.



デジタル



話してみよう

「聞いてみよう」で確認した話題や会話の流れ、語句・表現を参考にして、ペアやグループで会話したり、発表したりします。

【期待する発話例】

話題：自己紹介

Hi. I'm Ken. I'm from Yokohama.
I'm thirteen years old. I like baseball. I'm a pitcher of the school baseball team.

Lesson 1 Part 1 1

中学校生活が始まって、初めての英語の授業です。

聞いてみよう ジン、マーク、花が自己紹介をしています。どんなことを話しているか聞いてみよう。



Check それぞれが話した内容に合うものに○をしよう。

	Jing 	Mark 	Hana 
出身	<input type="checkbox"/>  <input type="checkbox"/> 		
好きなもの		<input type="checkbox"/>  <input type="checkbox"/> 	
人物	<input type="checkbox"/>  <input type="checkbox"/> 		
テニスの練習日		<input type="checkbox"/> Sat. <input type="checkbox"/> Sun.	
毎日勉強する教科			<input type="checkbox"/>  <input type="checkbox"/> 

16 sixteen

Check

「聞いてみよう」で話された内容について、二択クイズで確認します。

り、 たり、話したりします

レッスンの流れ

聞いてみよう
話してみよう

POINT

Drill

Read
Write

標準配当時間：POINT・Drillと合わせて2時間

話してみよう 聞いてみようを参考にして、ペアやグループで、自己紹介をしよう。



Lesson 1 の場面 わかば中学校での1日

Part 1

初めての英語の授業／登場人物が自己紹介をしている

Part 2

お昼休み／登場人物が好きなスポーツや食べ物について話している

Part 3

放課後／登場人物が趣味や好きなことについて話している

「話してみよう」の活動の中で使ってほしい語句・表現です。小学校で学んだものを提示しています。

Note 相手についてわかったことを書こう。

名前	わかったこと

Notes
● words
太字の単語は特に大切です。話したり書いたりして、表現できるようにしよう。

Notes

定型表現や語法の簡単な解説と、題材の背景知識のミニコラム。

Words
Jing ジン (p.16) (名前)
Mark マーク (p.16) (名前)

Words

中学校で新出の語句・表現を示しています。

➡詳しくは本書p.8へ

seventeen 17

小学校で聞いた話したりした大切な語句だよ。くり返し練習しよう。 about (p.15) me (p.15)

再掲語

小学校で学習した語句のうち、特に大切な語句。

➡詳しくは本書p.8へ

QRコード

本文やWordsの語句・表現などの音声を聞いたり、実際の発表動画やアニメーションを見たりできます。

Lesson 1

Part 1 ②

(1年)

聞いたり、話したりした 文法事項や文構造を整



授業の流れ

POINT

1年の Lesson 1~3では、小学校での学びをふり返し、中学校での学びへとつながる構成になっています。

POINTでは、前のページで聞いたり、話したりした英文を取り出して整理し、**文法事項**や**文構造**を明示的に理解します。

文法事項や文構造を意識しながら英文を聞いたり、読んだり、話したり、書いたりできるようにDrillでの練習につなげます。

デジタル



Drill

POINTのターゲット文の語句を入れ替えながら、くり返し「1. 語句を聞く ⇒ 2. 英文をくり返す ⇒ 3. キーワードを聞いて言う」練習をし、基礎的な力を身につけます。

【音声スクリプト】

1 Listen (語句を確認する)
happy / sad / angry / thirsty
a soccer player / a tennis player
/ a swimmer / a skier

2 Repeat (英文をくり返して言う)
I am happy. / I am sad. / I am
angry. / I am thirsty. / I am a
soccer player. / I am a tennis
player. / I am a swimmer. / I
am a skier.

3 Say (キーワードに続けて文を言う)
happy / sad / angry / thirsty /
a soccer player / a tennis
player / a swimmer / a skier

Lesson 1 Part 1 ②

ポイントを整理して、練習しよう。

POINT 聞いてみようと話してみようで、聞いたり、話したりした英文を整理しよう。

①の英文を音声にかけて言ってみよう。



I am Tanaka Hana.

I am fine.



I am from China.

I am a dancer.

考えよう

- ◆ 英文の主語は何か。
- ◆ am の後ろに続く語句について、気づいたことを話し合おう。

You are a dancer.



you のときは
are を使うよ。

[I am → I'm, you are → you're]

文法のまとめ p.36

②の英文を音声にかけて言ってみよう。



I play tennis.

I like basketball.



I have an English lesson.

I study English every day.

考えよう

- ◆ play, like, have, study には、どんな共通点があるかな。
- ◆ ①②の文の、ちがいや共通点について話し合おう。

You like sports.



you のときも I のときと同じ
like を使うよ。

文法のまとめ p.36

18 eighteen

小学校で聞いたり話したりした大切な語句だよ。くり返し練習しよう。

I am from you are play like have an

小学校での学びと、中学校での学び

小学校の学びでは、文法事項や文構造を明示的に理解することなく、目的や場面、状況に応じて、いろいろな英文を聞いたり、話したり、音で慣れ親しんだ英文を読んだり、書き写したりします。

一方、中学校の学びでは、ルールを明示的に理解し、聞いたり、話したり、読んだり、書いたりして活用するための基礎的な力を身につけます。



酒井 英樹
(信州大学)



英文を見て、 理し、練習します

レッスンの流れ



標準配当時間：聞いてみよう・話してみようと合わせて2時間

Lesson 1 の文法 be動詞と一般動詞

- Part 1 I am / I play / You are / You like
- Part 2 Are you ...? / Do you ...?
- Part 3 I am not / I do not ...

小学校では、主語が I のbe動詞と一般動詞の文を、文法的に理解することなく、聞いたり、話したりしています。03NCでは、小学校で体験した大量のインプットを活用して、聞いたり、話したりしたあと、be動詞と一般動詞を整理・理解し、ドリル練習や言語活動に取り組みます。

Notes
● Tanaka Hana (p.18)
日本人の名前を英語で表現するとき、①日本語同様「姓+名」とする言い方と、②英語圏での言い方に合わせて「名+姓」とする言い方の2通りがある。この教科書では①で統一している。

- Words**
- dancer (p.18)
 - thirsty
 - swimmer
 - skier

- Words**
- every (p.18)
 - every day (p.18)

Drill POINTの文を練習しよう。

- Listen 下の語句の意味を確認しながら、音声聞いてみよう。
- Repeat POINTの文を参考に、音声に続けて英文を言ってみよう。
- Say 下の語句を参考に、英文を言ってみよう。

いろいろな単語(付録 pp.11-17)の語句を参考に、英文を言ったり書いたりしよう。

1 Listen / 2 Repeat / 3 Say

いろいろな単語(付録 pp.11-17)の語句を参考に、英文を言ったり書いたりしよう。



チャンツ
1年生の Drill では、リズムに合わせて練習できます。

**気づきを促す工夫
考えよう / ペンギン**
POINTで取り出した、ターゲットとなる英文のしくみや、意味への気づきを促し、文法のルールや文構造の理解を助けます。



小学校英語 ▶ NEW CROWN
リンク ④

「文、文構造、文法事項」

小学校英語

自己紹介： I am / I like / I can / You are / Are you ...? **一日の生活**： What time do you ...? / I get up / I eat **人物紹介**： Who is ...? / He[She] is / He[She] can **夢・したいこと**： What do you want to ...? / I want to **思い出**： I went to / I ate / It was fun. / I enjoyed swimming. **誕生日**： When is ...? / It's **教科**： What ... do you ~? **道案内**： Where is ...? **買い物**： Do you have ...? / How much ...?

NEW CROWN

1年 Lesson 1： be動詞と一般動詞(1・2人称)の肯定・疑問・否定
Lesson 2： 助動詞 canの肯定・疑問・否定, he / she
Lesson 3： be動詞 is の肯定・疑問・否定, What is ...?, Who is ...?, him / her
GET Plus 1： What food ...?
GET Plus 2： How many ...?
Lesson 6： 一般動詞の過去
Lesson 7： be動詞の過去
2年： to不定詞(名詞用法), 動名詞

教えやすい・学びやすい

小中連携

レッスン構成

言語活動

題材

その他

Lesson 1

Part 1 ③

(1年)

学んだ知識を活用して、 中学校の学びへとつなげ



授業の流れ

デジタル



Read

小学校での学びと、POINTで整理し、理解した文法事項や文構造についての知識を活用して、30~40語程度の**まとまりのある初見の英文を読む**力を養います。

Write

小学校での学びと、POINTで整理し、理解した文法事項や文構造についての知識を活用して、**まとまりのある短い英文を書く**力を養います。

Readの英文とパラレルな形式の英文を書くことで、**ライティングの型**を身につけます。



小学校で体験した、英語の音について、簡単な活動を通してふり返ります。



小学校で学んだ、英語を書くときの決まりや記号の使い方をふり返ります。

Lesson 1 Part 1 ③

新しいALTのブラウン先生が、わかば中学校にやってきました。

Read 学校新聞に掲載されたブラウン先生の自己紹介の記事を読もう。

- live 住んでいる
- city 市
- now 今は
- much とても
- very much とても
- turtle カメ
- Ms. ...先生

Lucy Brown
ルーシー・ブラウン(名前)
London ロンドン(地名)
iguana イグアナ

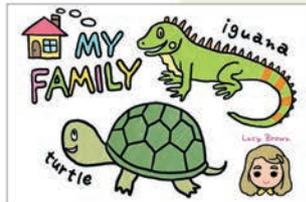
Wakaba J.H.S. Student Journal Our New Teacher



Ms. Brown

Hi. I am Lucy Brown. I am from London. I live in Wakaba City now.

I like animals very much. I have a turtle and an iguana at home.



[29 words]

Q&A ブラウン先生は何を飼っていますか。

英語の音声を確認しよう。

(1) 音声を聞いて、①~⑥の絵が表す単語の初めの文字を下から選び線で結ぼう。

① 	② 	③ 	④ 	⑤ 	⑥ 
p	t	k	b	d	g

(2) p・t・kで始まる単語を発音するときと、b・d・gで始まる単語を発音するときでは、どんなちがいが共通点があるか話し合おう。

20 twenty

小学校で聞いたり話したりした大切な語句だよ。くり返し練習しよう。

hi in animal(s) very at

小学校での学びをふり返り、 英語の音と英語の書き方を確認します

Lesson 1 英語の音

- 子音① p t k / b d g
- 子音② l r / m n
- 子音③ th [θ] [ð]

Lesson 1 英語の書き方

大文字の I / 文頭の大文字 / 固有名詞の語頭の大文字 / 単語と単語の間隔 / 文末のピリオド / 疑問符 ? / Yes, No, の後のコンマ / 文と文の間隔 / アポストロフィー

読んだり、書いたり します

レッスンの流れ



標準配当時間：見開きで2時間

Lesson 1 Read

テキストタイプと語数

学校新聞

Part 1
わかば中学校に新しく来た ALT のブラウン先生が書いた**自己紹介文**(29語)

Part 2
わかば中学校の生徒がブラウン先生にたずねた**質問と先生の答え**(39語)

Part 3
担任の丘先生が書いた趣味のダンスについての**紹介文**(34語)

Write あなたのプロフィールカードを作って、ALTの先生に読んでもらおう。

Step 1 あなた自身のことを、メモに書き出そう。

名前	<input type="checkbox"/>	いつも すること	<input type="checkbox"/>
好きなもの	<input type="checkbox"/>	得意なこと	<input type="checkbox"/>
その他	<input type="checkbox"/>	その他	<input type="checkbox"/>

Step 2 Step 1 を参考にして、あなたの自己紹介を英語で書こう。

My Profile

Notes
● Ms. / Mr. (p.20)
英国式では、Ms / Mr のようにピリオド(.)が省略されることが多い。

英文にすると、
am を使うものに
☑しよう。



Word Bank
I am good at ...
...が得意だ
play the piano
ピアノをひく
practice volleyball
バレーボールを練習する
read comics
漫画を読む

Word Bank
Write の活動で英文を書くときに使える語句・表現をまとめています。

英語の書き方を確認しよう。

例にならって、あなたの名前を紹介する英文を書こう。

● 文の最初の文字は大文字にする(ただし、I は文の中でも大文字)。 ● 人名・地名の最初の文字は大文字にする。

例) I am Tanaka Hana.

● 単語の間は小文字1つ分くらいあける。 ● 文の終わりには、[.] (ピリオド)をつける。

Words
comic(s)



小学校英語 ▶ NEW CROWN
リンク ⑥

小学校英語

音

- ・アルファベットの名前の音
- ・音の変化(語と語の連結など)
- ・強勢、イントネーション、区切り

書き方

- ・符号(ピリオド、コンマ、疑問符など)
- ・アルファベットの大文字と小文字(4線)
- ・ヘボン式ローマ字

「英語の音」「英語の書き方」

NEW CROWN

音

Lesson 1 : 子音 p t k / b d g, l r / m n, th [θ] [ð]

Lesson 2 : カタカナと英語の違い, モーラとシラブル

Lesson 3 : 母音 a, e, i, o, u

書き方

Lesson 1 : I 文頭の大文字 / ピリオド・疑問符・コンマなど

Lesson 2 : ローマ字 / 単語を書くときの留意点

Lesson 3 : アルファベットを書くときの留意点

教えやすい・学びやすい

小中連携

レッスン構成

言語活動

題材

その他

Lesson 2

(1年)

国際交流キャンプ

授業の流れ

聞いてみよう

小学校で体験した場面や似た状況での会話や発表を聞いたり、見たりして、これまでの学びを振り返ります。



話してみよう

「聞いてみよう」で確認した話題や会話の流れ、語句・表現を参考にして、ペアやグループで会話したり、発表したりします。

POINT Drill

POINTでは、聞いたり、話したりした英文を取り出して整理し、**文法事項**や**文構造**を理解します。

Drillでは、ターゲット文の語句を入れ替えながら、くり返し練習し、基礎的な力を身につけます。

Read Write

Readでは、知識を活用して、30~40語程度の**まとまりのある初見の英文**を読む力を養います。

Writeでは、知識を活用して、**まとまりのある短い英文**を書く力を養い、ライティングの型を身につけます。

Lesson 2 場面

- Part 1** 自分や家族などが得意なことを紹介している
- Part 2** タレントショーで何をするか話し合っている

Lesson 2 文法 助動詞 can

- Part 1** I can / I cannot
- Part 2** Can you ...? Yes, I can. / No, I cannot.

I can make puddings.	I cannot bake cookies.
She can run fast.	She cannot jump high.
He can climb trees well.	He cannot swim well.

標準配当時間：見開きで2時間

Teachers' Profile

Rei and I are the teachers of the cooking activity. Rei is the main teacher. He can cut vegetables quickly. I cannot use a knife well. I am his assistant. Enjoy the activity.

Jane

標準配当時間：見開きで2時間

Lesson 2 Read テキストタイプと語数

- Part 1** キャンプの料理アクティビティの先生が書いた**2人の先生の紹介文**(34語)
- Part 2** 新しく友だちになった海外からの留学生とやり取りした**メッセージ**(32語)

Lesson 3

(1年)

インドからの転校生



授業の流れ



聞いてみよう

会話や発表を聞いたり、見たりして、これまでの学びをふり返ります。



話してみよう

ペアやグループで会話したり、発表したりします。

POINT

Drill

POINTでは、**文法事項や文構造を理解**します。

Drillでは、**ターゲット文をくり返し練習し、基礎的な力を身につけます。**



Read

Readでは、30~40語程度の**短い初見の英文を読む力**を養います。



Listen

Listenでは、簡単な短い文脈を使った、**聞く活動を通して、活用に向けた基礎的な力を身につけます。**



Speak



Speak / Talk では、短い文脈を使った、**話す活動[やり取り/発表]を通して、活用に向けた基礎的な力を身につけます。**



Write

Write では、短い文脈を使った、**書く活動を通して、活用に向けた基礎的な力を身につけます。**

Lesson 3 場面

Part 1 インドで撮られた写真について話している

Part 2 掲示板に貼ってあるポスターについて話している

Part 3 ウェブサイトについて話している

Lesson 3 文法

is / what, who / him, her

Part 1

This is / That is not

Part 2

Is this ...? / What is ...?

Part 3

him, her / Who is ...?

転校生のディーナがインドで撮った写真を見せています。

聞いてみよう ジンとディナがディーナと話しています。どんなことを話しているか聞いてみよう。

Check 正しい写真を選びましょう。

Jing and Dinu

Hana and Dinu

Read ディーナが、インドの友達からもらった手紙を見ている。花に書いています。

Dear Ratna,
こんにちは。 This is 'hello' in Japanese.
It is 'namaste' in Hindi. Japanese is not easy. I learn it from my friend, Hana. She is a good teacher.
Yours,
ディナー (This is my name in Japanese.)

POINT 見たり、話したり、読みだした英文について考えよう。

Drill POINTの文を確認しよう。

1 Listen / 2 Repeat / 3 Say

50 My 51

標準配当時間：見開きで2時間

Listen ディーナが写真を見せながら、インドの有名なものについて話しています。(1~4の空欄に合う写真を選び、()に番号を書こう。

Speak 写真や絵を見せながら、日本のものを説明しよう。

This is a sensu. It is a Japanese fan. We usually use it on hot days.

Write 海外の人に向けて、日本の文化や伝統を紹介するウェブサイトに投稿しよう。

Step 1 紹介したいものを日本人のために書きましょう。

Step 2 空欄を埋めて、日本のものを紹介する記事を書こう。

52 My 53

標準配当時間：見開きで2時間

Lesson 3 Read テキストタイプと語数

Part 1 インドからの転校生がインドの友だちにあてて書いた**手紙**(35語)

Part 2 転校生が訪れた神社から友だちに送った**メッセージ**のやり取り(34語)

Part 3 地域の著名人が紹介された**新聞記事**(28語)

教えやすい・学びやすい

小中連携

レッスン構成

言語活動

題材

その他

文法のはなし

文、文構造、文法事項の配置・配列

L	1年	2年	3年
1	be動詞(am, are) / 一般動詞	接続詞(when, if, that)	現在完了進行形
2	助動詞 can	不定詞	受け身形
3	is / what / who / him [her]	There is [are] / 動名詞	後置修飾(分詞)
4	3人称単数現在形	SVOO / SVOC	関係代名詞(主格)
5	現在進行形	比較	関係代名詞(目的格)/ 接触節
6	一般動詞(過去)	現在完了形(継続)	仮定法過去
7	be動詞(過去)/ 過去進行形	現在完了形(完了, 経験)	間接疑問 / 原形不定詞
8	will / be going to ...		

※ L : Lesson

平成28年度版から令和3年度版への変更点

令和3年度版NEW CROWNは、小学校での学びを前提としているため、文法の配列とその扱い方が平成28年度版から変更になっています。

たとえば、1・2人称の**be 動詞**と**一般動詞**は、小学校の学びで頻繁に使用してきたことを考え、1年冒頭のLesson 1でまとめて扱い、比較しながら整理するような構成になっています。

また、これまで1年後半にあった**助動詞can**についても、小学校での学習状況を勘案し、Lesson 2の学習事項となっています。

一方で、新たに中学校の学習内容となった**現在完了進行形**や**仮定法過去**、**原形不定詞**を3年に配置しています。

それによって、従来の文法シラバスが全体的に少しずつ前倒しになり、1年では基本時制と単文レベルの表現、2年では複文レベルの表現と、比較、現在完了形などを使って詳しく述べる表現、3年では現在完了進行形や関係代名詞、仮定法過去を使ったより複雑な表現を学んでいくという流れになっています。

サブレッスン GET Plus

NEW CROWNのメインレッスンでは、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの活動を通して、**文法事項**や**文構造**、語句・表現などを身につける**GET**というパートを設定しています。このGETで身につけたことは、その後のUSEやProjectなどの言語活動の中で活用していきます。

また、**GET Plus**というサブレッスンでは、提示された場面での会話中の**表現**と**言語の動き**を学び、実際に言語を使う場面で活用する力を養います。さらに、となりのページにある**Word Bank**の語句を活動に取り入れることで、表現力の強化につながります。

G	1年	2年	3年
1	What food ...?	May I ...? 【許可】	I'm glad to
2	How many ...?	It is ... (for A) to ~.	If I were you,
3	Which ...?	must / must not	I want you to
4	Whose ...?	have to ... / don't have to ...	
5	You look	how to ...	
6	Can you ...? 【依頼①】	Could you ...? 【依頼②】	

※ G : GET Plus

使いやすい レッスン構成

充実した 言語活動

知識・技能を習得し、思考力・判断力・ 表現力を育成するレッスン構成

対話的な学びや深い学びを引き出す 充実した言語活動



1 学びの見通しを立てる

とびら

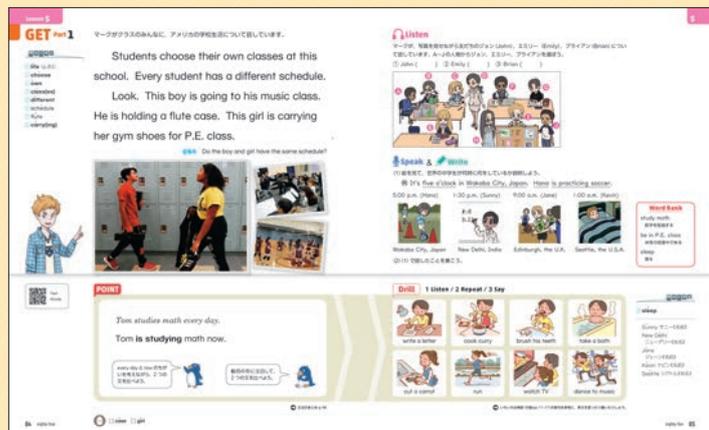
→ 本書 p.24



2 基礎的・基本的な知識・技能を習得する

GET

→ 本書 pp.26~27

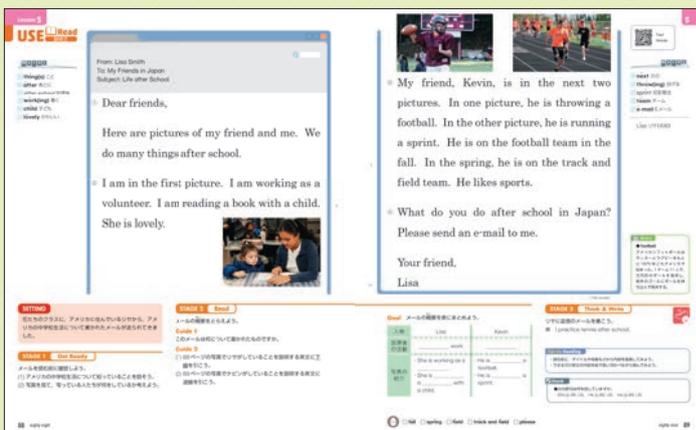


GET Plus → 本書 pp.28~29

3 知識・技能を活用して、思考力・判断力・表現力を養う

USE Read

→ 本書 pp.30~31



USE

Write → 本書 pp.32~33

Speak → 本書 pp.34~35

Take Action!

Listen → 本書 pp.36~37

Talk → 本書 pp.38~39

4 学びをふり返る

What Can I Do?

→ 本書 p.25



教えるやすい・学びやすい

小中連携

レッスン構成

言語活動

題材

その他

とびら

学ぶ内容への**動機づけ**をし 学習の**見通し**を立てます

Lesson 5

レッスンの題材や場面、それぞれのパートで学ぶ文法事項や言語活動を確認することで、レッスンを通した**学びの見通し**を立てます。

動画を活用した イントロダクション(①)

レッスンの題材に関連した動画を見て、学習への**動機づけ**をします。



デジタル



School Life in the U.S.A.



- ① Where does this bus go?
- ② What do you like about your school?

マークがアメリカの学校生活を**紹介**します。日本の学校生活とのちがいや共通点は何でしょうか。また、アメリカの中学生はどのように放課後を過ごしているでしょうか。

GET POINT

Tom is studying math now.
Is Tom studying math now?

USE Read

アメリカに住んでいるリサから届いたメールを読もう。

USE Write

アメリカの中学生に日本の中学校生活を**紹介**するメールを書こう。

eighty-three 83

写真を活用した イントロダクション(②)

とびらの写真やQ&Aを使ってレッスンの題材や場面を導入し、題材に関する生徒の背景知識**(内容スキーマ)**を活性化したり、学習への**動機づけ**をします。

[Oral Introduction スクリプト]

Do you see the yellow bus? Where does this bus go? It is a school bus in the U.S.A. The students' school day starts and ends on the bus. Like you, American students study and play sports after school. They do lots of other things too. Many students in the U.S.A. like different things about their school. For example, they like lunchtime or the library. What do you like about your school?



金丸 紋子
(カリタス女子中学高等学校)

学習への動機づけが、授業成功のカギ

新しいレッスンに入るとき、生徒の興味関心を引き付けるために、関連のある音楽を流したり、写真や動画を見せたりして、学習の動機づけをします。

生徒がワクワクするような導入ができれば、授業の理解が深まったり、言語活動に積極的に取り組んだりするようになります。

What Can I Do?

1年間で学んだことを CAN-DOリストでふり返ります



What Can I Do?

みなさんがこの1年間の学習の中で、できるようになってほしいことのリストです。これまでに学んだ英語を使って、自分の力で（辞書などは使ってもOK）何ができるのか、このリストを使って確認しよう。

Listen 聞くこと

必要な情報を聞き取る

簡単な商品説明や天気予報などを聞いて、自分が必要な情報を聞き取ることができる。 [Listen 1, 6](#)

概要を捉える

自分の興味のあることからについての簡単な説明（映画の予告編など）を聞いて、その大まかな内容を聞き取ることができる。 [Listen 3](#)

要点を捉える

短く簡単なアナウンスやインタビューを聞いて、重要な情報を聞き取ることができる。 [Listen 2, 5](#)

Read 読むこと

必要な情報を読み取る

チラシや観光案内などを読んで、自分が必要な情報を読み取ることができる。 [Information 1, 2](#)

概要を捉える

簡単な記事や自分あてのメールを読んで、その大まかな内容を読み取ることができる。 [L4-Read, L5-Read](#)

写真などをたよりに短い物語を読んで、そのあらすじをつかむことができる。 [L6-Read, L7-Read, Fun](#)

要点を捉える

簡単な英語で書かれたパンフレットを読んで、その重要な情報を読み取ることができる。 [L6-Read](#)

Talk 話すこと[やり取り]

即興で伝え合う

自分の持ち物や好きなことについて、即興で伝え合うことができる。 [Talk 1, 5, 6](#)

まとまりのある内容を伝え合う

準備をした上で、メモを見ながら、簡単なやり取りをすることができる。 [Talk 4](#)

Speak 話すこと[発表]

即興で発表する

身近な人物について、即興で簡単な紹介ができる。 [L4-Speak](#)

まとまりのある内容を発表する

自分の興味のあることから（好きな偉人や理想のロボットなど）について、準備した上で発表することができる。 [L7-Speak, Project 1](#)

Write 書くこと

正確に書く

自分を紹介する短い文章を書くことができる。 [L4-Write](#)

まとまりのある文章を書く

学校行事や町について、短く簡単な記事や紹介文を書くことができる。 [L5-Write, Project 2](#)

自分の学習を調整し 学びに向かう力を育む

CAN-DOリストを参照しながら、自分の苦手な領域や活動を**ふり返り**、それらを一つずつ克服したり、自分に合った学びを身につけたりします。



Teacher's Manual

指導書では、中学卒業時の目標、単元ごとの目標、毎時の目標、評価例等をまとめて提示しています。それぞれを照らし合わせながら、計画的に指導することができます。

自信がない項目は、示された部分を見て何を学んだかふり返ってみよう。

- 例) Listen 1 = Take Action! Listen 1
Information 1 = Reading for Information 1
L4-Read = Lesson 4 USE Read
Fun = Reading for Fun
Talk 1 = Take Action! Talk 1
L4-Speak = Lesson 4 USE Speak
L4-Write = Lesson 4 USE Write

それぞれの項目について、自分の力を確認して、下の例を参考にに書き入れてみよう。

- 例) 自力でできる
 先生や友だちの助けを借りながらできる
 自信がない

後①



使い方

学年の始めに1年間の目標として意識づけ

聞くこと・読むこと・話すこと[やり取り]・話すこと[発表]・書くことの目標を、生徒にわかりやすい表現で、具体的に示しました。

1年間の学習を通してできるようになったことをセルフチェック

1年間の学習を通して、どんなことができるようになったか、**自己評価**し、自分の力を確認します。

GET

基礎的・基本的な語句や表現,

中学校で学習する語彙のうち、特に大切な発信語彙は太字で示してあります。

→詳しくは本書p.8参照。

GETの本文

GETでは、ターゲットの文法事項を含む**40~50語**程度の短い英文を読みます。

ピクチャーカードやアニメーションなどを利用して、場面や状況を確認しながら導入したり、内容理解を図ったりすることができます。



デジタル



本文(Text)や**語句・表現(Words)**の音声を聞いたり、実際の発表動画を見たりすることができます。

Lesson 5

GET Part 1

Words

- life (p.83)
- choose
- own
- class(es)
- different
- schedule
- flute
- carry(ing)

マークがクラスみんなに、アメリカの学校生活について話しています。

Students choose their own classes at this school. Every student has a different schedule.

Look. This boy is going to his music class. He is holding a flute case. This girl is carrying her gym shoes for P.E. class.

Q&A Do the boy and girl have the same schedule?



POINT

Tom studies math every day.

Tom is **studying** math now.

every day と now の違いを考えながら、2つの文を比べよう。



動詞の形に注目して、2つの文を比べよう。



文法のまとめ p.96

84 eighty-four

case girl



授業の流れ

POINT

POINTで取り上げたターゲットの英文について、ペンギンの発問を通して、既習の英文と対比したり、文脈のつながりを考えたりしながら、文のしくみや意味への気づきを促し、**文法事項**や**文構造**を整理・理解します。

デジタル



Drill

Drillでは、POINTのターゲット文の語句を入れ替えながら、**くり返し練習**し、基礎的な力を身につけます。(1年はチャンツに合わせて言う活動もあります。)

語句を聞く

聞いた英文をくり返して言う

キーワードを聞いて英文を言う

文法事項や文構造を習得します

英文の内容理解を助ける資料映像

学習への動機づけをしながら、本文の場面の**導入**や、文化的な背景知識の**理解**へとつなげます。



話したり、書いたりする活動で使える語句・表現の補充。

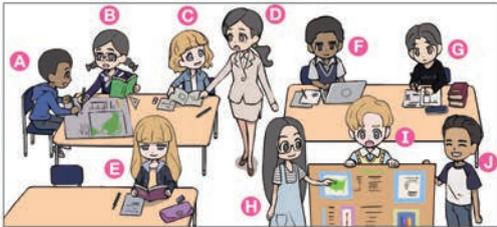
Word Bank

- study math
数学を勉強する
- be in P.E. class
体育の授業中である
- sleep
寝る

Listen

マークが、写真を見せながら友だちのジョン (John)、エミリー (Emily)、ブライアン (Brian) について話しています。A~Jの人物からジョン、エミリー、ブライアンを選ぼう。

- ① John () ② Emily () ③ Brian ()



Speak & Write

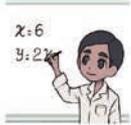
(1) 絵を見て、世界の中学生が何時に何をしているか説明しよう。

例 It's five o'clock in Wakaba City, Japan. Hana is practicing soccer.

- 5:00 p.m. (Hana) 1:30 p.m. (Sunny) 9:00 a.m. (Jane) 1:00 a.m. (Kevin)



Wakaba City, Japan



New Delhi, India



Edinburgh, the U.K.



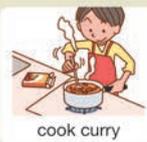
Seattle, the U.S.A.

(2) (1) で話したことを書こう。

Drill 1 Listen / 2 Repeat / 3 Say



write a letter



cook curry



brush his teeth



cut a carrot



run



watch TV

いろいろな単語 (付録pp.11-17) の語句を

機械的な練習から、意味のやり取りを伴う活動へ

パターンプラクティスは、機械的な練習ですが、導入された新しい文法事項の口慣らしや自動化のために大切です。

また、言語活動の中で意味のやり取りを円滑に行うことで、設定したゴールに生徒が着実に到達できるようにするために必要な基礎力を養います。



津久井 貴之

(お茶の水女子大学附属高等学校)

Listen

Listenでは、GETの本文とは異なる場面で、登場人物たちがくり広げる**サイドストーリー**として、POINTの文法事項を含む短い英文を聞きます。

3種類の速さの音声を選べます。

ゆっくり

ふつう

はやい

Speak Talk Write

Speak / Talk / Writeでは、Listenで聞いた英文を参考に、話したり[やり取り/発表]、書いたりして、POINTの文法事項を含む英文を使って発信する力を身につけます。



授業の流れ

Dialog

会話の場面を表す3コマのイラストと、短い対話文で、会話の中で使われる**表現と言語の働き**を、わかりやすく提示しています。

GET Plusでは、かたまりとして出会い、練習し、ぱっと使えるようになってほしい表現を扱っています。



デジタル



Exercise 1/2

1では、パターンプラクティスとして、くり返し置きかえ練習を行います。

2では、Dialogの表現と、右ページのWord Bankの語句を参考にしながら、提示された場面と設定をもとに、ペアでやり取りします。

Try

場面と言語の働きを意識しながら、ペアで自由度の高い会話を行います。



GET Plus 6 ベッドを整えてくれませんか



Dialog

休日に自宅で、マークのお父さんとマークが話しています。



Mark, I need some help.



Can you make the bed?



Yes, of course.

「…してくれませんか」と依頼するとき

Exercise 1

マークのお父さんになったつもりで、マークにしてほしいことを依頼しよう。

Dialog



Exercise 2

Dialogと例を参考にペアで会話しよう。 Word Bank p.139

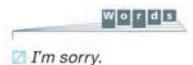
p.139のWord Bankから動作を1つ選んで、してほしいことを依頼したり、依頼に応じたりしよう。

例 A: Can you walk the dog?

B: I'm sorry, but I can't. I'm busy now.

Write 上で依頼した文を書こう。

Try ペアで、してほしいことを依頼したり、応じたりして、自由に話そう。



138 one hundred and thirty-eight



場面設定を活かした基礎的な会話練習



中島 真紀子
(筑波大学附属中学校)

授業の始まりと同時に、場面の設定とDialogの導入をし、ターゲットの表現をできるだけ多く使わせることで、定着へと導くことができます。

授業全体、教室全体を英語でのコミュニケーションの場として設定することで、生徒は、教師が使う表現を場面とともに理解し、積極的に使うようになります。

標準配当時間：見開きで1時間

を整理し、 用する力を養います

→GET と GET Plus については、
本書p.22参照。

+ Word Bank いろいろな動作



- Words
- open
 - window
 - laundry
 - feed
 - off
 - light
 - lock
 - door
 - answer

カテゴリーごとに 語句を提示

Word Bank では、カテゴリーごとに、イラストとともに基礎的な語句を示しています。GET Plus など、いろいろな練習の中で、それらの語句を使いながら身につけます。

カテゴリー

映画／テレビ番組／音楽／数／動物
／身の回りのもの／状態や気持ち
／施設の規則や交通ルール／日本
文化・観光／環境・社会／いろいろ
な動作 など

いろいろな場面で Can you ... ? を使ってみよう。

例 1

Mr. Oka: This weekend is the hanami party.
Can you bring some drinks?
Ms. Brown: Sure. I'll bring juice and tea.
Mr. Oka: Great. Thanks.

例 2

Dinu: I'm going to the park.
Do you need anything?
Mother: **Will you** buy some fruit?
Dinu: OK.

● Will you ... ? は親しい人に使う。

文法のまとめ ⑤

現在進行形 現在動作をしている最中だと言うときは、<be動詞 (am, is, are) + 動詞の -ing 形> で表します。

肯定文 Tom is studying math now.
疑問文 Is Tom studying math now?
否定文 Tom is not studying math now.

動詞の -ing 形

- ① ing をつける
play → playing
watch → watching
- ② 最後の e をとって ing をつける
use → using
write → writing
- ③ 最後の子音字を二重にして ing をつける
run → running

英語のしくみ

いろいろな疑問文 ②



主 体的・対 話的 で 深 い 学 び

文法のまとめ

文法事項や文構造をまとめる／整理する

それまでに学んだ文法事項をまとめてふり返ったり、関連する文法事項や文構造を、レッスンや学年横断的に整理したりします。

イメージで理解する

英語のしくみでは、文法、日本語と英語の違い、英語の発想のしかたなどを絵でわかりやすく解説。英語をイメージで理解します。

教えやすい・学びやすい

小中連携

レッスン構成

言語活動

題材

その他

英文の内容理解を 助ける資料映像

英文を読む前に,本文の文化的な背景知識(内容スキーマ)を活性化したり,長文読解に向けた動機づけをしたりします。



デジタル



目的や場面,状況を 確認する

SETTINGで,どんな目的で読むのか,どんな場面で読むのか,どんな状況で読むのか,設定を確認しながら,タスクに取り組みます。

Lesson 5

USE Read 読解文

words

- thing(s) こと
- after あとに
- after school 放課後
- work(ing) 働く
- child 子ども
- lovely かわいい

From: Lisa Smith
To: My Friends in Japan
Subject: Life after School

① Dear friends,

Here are pictures of my friend and me. We do many things after school.

② I am in the first picture. I am working as a volunteer. I am reading a book with a child. She is lovely.



SETTING

花たちのクラスに,アメリカに住んでいるリサから,アメリカの中学校生活について書かれたメールが送られてきました。

STAGE 1 Get Ready

メールを読む前に確認しよう。

- (1) アメリカの中学校生活について知っていることを話そう。
- (2) 写真を見て,写っている人たちが何をしているか考えよう。

STAGE 2 Read

メールの概要をとらえよう。

Guide 1

このメールは何について書かれたものですか。

Guide 2

- (1) 88ページの写真でリサがしていることを説明する英文に下線を引こう。
- (2) 89ページの写真でケビンがしていることを説明する英文に波線を引こう。

GET

写真を見ながら,花とマークが話しています。

Hana: Are these students eating lunch?

Mark: Yes, they are. Some students bring lunch from home. Others buy lunch at the cafeteria.

Hana: What is the boy eating?

Mark: He's eating a taco. It's a popular food from Mexico.

GET から USEへ

GETでは,ターゲットの文法事項を含む**40~50語**程度の短い英文を読みます。

USE Readでは,平均で,**1年100語,2年200語,3年300語**のまとまりのある長文を読む力をつけます。

応じて、 概要や要点を**読み取る**力を育てます



③ My friend, Kevin, is in the next two pictures. In one picture, he is throwing a football. In the other picture, he is running a sprint. He is on the football team in the fall. In the spring, he is on the track and field team. He likes sports.

④ What do you do after school in Japan? Please send an e-mail to me.

Your friend,
Lisa



- Words
- next 次の
 - throw(ing) 投げる
 - sprint 短距離走
 - team チーム
 - e-mail Eメール
-
- Lisa リサ(名前)

Notes

● football
アメリカンフットボールはサッカーとラグビーをもとに1870年ごろアメリカで始まった。1チーム11人で、だ円形のボールを使用し、相手のゴールにボールを持ち込んで得点する。

ジャンルと テキストタイプ

英文を「**意見文**」「**説明文**」「**物語文**」の3つのジャンルに分け、それぞれのジャンルやテキストタイプに合わせた読み方が身につくように、STAGE 2のGoalのタスクを設定しています。

テキストタイプ

新聞・雑誌・ウェブサイトの記事／メール／ブログ／パンフレット／書籍(文学作品)／スピーチの原稿／ガイドブックのコラム／インタビュー記事／書籍(伝記) など



主 対 深

in English

読んだ内容について、英語で話したり、書いたりしてほしい活動です。



Goal メール^{の要}の概要を表にまとめよう。

人物	Lisa	Kevin
放課後の活動	_____ work	_____
写真の紹介	- She is working as a _____.	- He is _____ a football.
	- She is _____ a _____ with a child.	- He is _____ a sprint.

STAGE 3 Think & Write

リサに返信のメールを書こう。
③ I practice tennis after school.

Tips for Reading

- ・読む前に、タイトルや写真などから内容を推測してみよう。
- ・できるだけ英文の内容を絵で思い浮かべながら読んでみよう。

Check

- 次の語句は何を指していますか。
She (p.88, 1.6), He (p.89, 1.6), me (p.89, 1.8)

fall spring field track and field please

eighty-nine 89



授業の流れ

STAGE 1 Get Ready

英文を読む目的や場面、状況などの設定を理解したり、文化的な背景知識などの**内容スキーマ**を活性化したりするプレ活動です。

STAGE 2 Read

Goalのメインタスク(概要理解／要点理解)に向かって、Guideの補助タスクに取り組み、**くり返し英文を読む**ことで、長文を読む力を養います。

STAGE 3 Think & Write

設定された場面や状況をふまえ、読み取ったことをもとに、自分の考えや意見を整理し、話したり、書いたりして、発信する**ポスTREEディング**活動です。

USE Write

書くこと

目的や場面, 状況に まとまりのある英文を



授業の流れ

書くプロセスの 見える化

3つのステップで、モデル文が完成するまでのプロセスや、英文の構成を理解します。

書きたい内容を**考える**

考えたことを**整理する**

まとまりのある文を**書く**

構成・構造

典型的な英語の文章構造に触れ、型を身につけます。

Opening

Body

Closing

デジタル



Lesson 5

USE Write メール

学校生活や行事を紹介するメールを書こう

リサから「日本の学校について教えてほしい」というメールが届きました。写真を添えて、日本の学校生活や行事などを紹介するメールを書こう。



1. Follow the Steps

陸がメールを書いています。どんなことを考えながら書いているか確認しよう。

Step 1 内容を考える

- 紹介したいこと
- 球技大会
 - 音楽部の活動
 - 入学式
 - 制服
 - 体育の授業
 - 給食

給食	
説明	写真について
<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 全校生徒が同じメニューの食事をとる <input type="checkbox"/> メニューは日替わり <input type="checkbox"/> みんな教室で食べる <input type="checkbox"/> 栄養士が献立を考えている 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 友だちがカレーを食べているところ <input type="checkbox"/> わかば中学校では6人1グループの班ごとに机をつなげる <input type="checkbox"/> 飲み物は主に牛乳 <input type="checkbox"/> カレーの日はナンが出ることもある

Step 2 考えを整理する

Opening	紹介すること	This is a picture of our school lunch.
Body	説明, 写真について	- My friends are eating curry. - eat in the classroom - everyone, eat the same thing
Closing	ひとこと	I like our school lunch very much.

Step 3 文章を書く

Our School Lunch

This is a picture of our school lunch. We are eating curry. We eat school lunch in the classroom. Everyone eats the same thing. I like our school lunch very much.





90 ninety

GET

Speak & Write

(1) 絵を見て、世界の中学生が何時に何をしているか説明しよう。

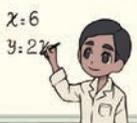
㊦ It's five o'clock in Wakaba City, Japan. Hana is practicing soccer.

5:00 p.m. (Hana)



Wakaba City, Japan

1:30 p.m. (Sunny)



New Delhi, India

9:00 a.m. (Jane)



Edinburgh, the U.K.

1:00 a.m. (Kevin)



Seattle, the U.S.A.

(2) (1) で話したことを書こう。

GET から USEへ

GET Writeでは、ターゲットの文法事項を含む**短い英文**を書きます。

USE Writeでは、読み手を意識し、内容的に**まとまりのある英文**を書きます。

(1年 p.85)

応じて、文章の構成を考え、 書く力を育てます

Check 設定を確認しよう。

(何のために) 日本の学校をリサに紹介するために
(何について)
(何を)



5



陸のひとりごと

What's a good topic?

思いついたことをまず書き出してみよう。アメリカにはない習慣や行事を紹介したらいいかな。

What can I say about it?

写真について説明するときは、まず写っている人のことを説明した方がいいかもしれない。

[topic 話題 say 言う]

What can I write?

アメリカと異なるところを紹介しよう。マークから聞いた話では、アメリカの中学校では昼ごはんを教室では食べないらしい。それなら、場所の説明もしない。

How can I write?

「...を食べているところ」だから、are eating がいいのかな。

Now, let's write!

・写真に写ってはいないけど、ほくも一緒に食べていたからMy friendsじゃなくてWeにしよう。
・主語がeveryoneのときはeatsになるんだ。

① Step①の日本語のメモのうち、Step②で陸が取り上げたものにチェック☑しよう。

② Step③の英文のうち、Opening、Body、Closingはどの部分ですか。/で区切ろう。

2. Work in Class クラスやグループで協力して書こう。

Step 1 内容を考える

紹介したいこと	説明	写真について
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

Step 2 考えを整理する

Opening	紹介すること	
Body	()	
Closing	ひとこと	

Step 3 文章を書く

3. Write by Yourself

あなたの学校生活や行事などを紹介するメールを書こう。

Idea Box

- 【学校生活】
- class schedule 時間割 cleaning time 掃除の時間
- club activities 部活動 daily report / class diary 学級日誌
- homeroom ホームルーム science class 理科の授業
- school uniform (学校の) 制服
- clean the room 部屋を掃除する do experiments 実験をする
- practice soccer サッカーを練習する take a class 授業を受ける
- 【場所・時間】
- in the schoolyard 校庭で in the gym 体育館で
- every Tuesday 毎週火曜日に on weekdays 平日に
- in the second period 2時間目に start at ... …に始まる

いろいろな単語 付録pp.11-17

ninety-one 91

Work in Class

クラスやグループでの協働作業を通して、一人で書くことに向けた練習をし、考え方や進め方を確認します。

目的や場面、状況を確認する

Check では、どんな目的や場面、状況でタスクに取り組むのか、**設定を確認**します。

テキストタイプを意識したライティング

クラスやグループでの**協働作業**を通して、ライティングの型を身につけます。

テキストタイプ

メール／絵日記／エッセイ／レポート／カード／メッセージ／自己PRカード など



主対深



陸のひとりごと

書き手の**思考のプロセス**をたどり、どんなことを考えているか、どんな**工夫**をしているかを知ること、実際のタスクで、考えたり、整理したり、書いたりするときの参考にします。

クラスやグループで、協働的に書く活動を行う

ライティング力を養うためには、自律的に考え、整理し、書くというプロセスを身につけることが大切です。

クラスやグループで協働して活動に取り組むことで、他者との対話によって、書くべき内容のアイデアを生み出したり、書いたものを推敲したりして、一人での作業になりがちなライティングを「対話的な学び」にすることができます。



工藤 洋路
(玉川大学)



授業の流れ

1. Watch

Watch では、スピーチなどの実際の発表のモデル動画を見て、発表する際の**音声面**での工夫だけでなく、**デリバリー**での工夫についても確認します。



2. Read & Think

発表原稿のメモを見て、どんな工夫をしているか考えます。

3. Write & Speak

発表原稿を書いて練習し、発表します。

Lesson 7

USE Speak
スピーチ

偉人^{しょうがい}を紹介しよう



世界中の中学生が参加するスピーチコンテスト「A Great Person in History」に参加することになりました。好きな偉人やあこがれの偉人について発表しよう。

1. Watch 陸のスピーチ動画を見よう。

- (1) 発表するときに、陸がどんな工夫^{くわふ}をしているか考えよう。
- (2) 発表のあとにどんな質問^{しつもん}が出たか確認しよう。

2. Read & Think 陸のスピーチ原稿^{げんこう}と、陸が書き加えたメモを見て、どんな工夫をしているか考えよう。

Opening ●あいさつ ●人物	Hi. / I'm Riku from Japan. / Albert Einstein is a great person. I respect him. / <small>ゆっくり →</small>
Body ●説明 ●理由	He was a great scientist / in the 20th century. / He won / a Nobel Prize / in 1921. / <small>→ 発表注意: 口先を丸くする</small> He had a strong passion / for science. /
Closing ●ひとこと	Einstein is my hero. /



- いろいろな記号を使い分けて、読みやすい発表メモにしよう。
- 意味のかたまりごとに、英文を / で区切ってみよう。
 - 長い語句はリズムよく言えるように、→ で印をしよう。
 - 強く読む単語や文字にマーカーを引こう。

Tips for Speaking アイコンタクト

- 発表するときは原稿を見ずに、聞いている人たちとアイコンタクトをとろう。
- ・1回の発表の中で、多くの人と目を合わせることを意識してみよう。
 - ・余裕^{ゆとり}が出てきたら、聞いている人たちの様子に合わせて、ゆっくり話したり、くり返したりしよう。

120 one hundred and twenty

Speak & Write

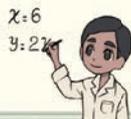
(1) 絵を見て、世界の中学生が何時に何をしているか説明しよう。

例 It's five o'clock in Wakaba City, Japan. Hana is practicing soccer.

5:00 p.m. (Hana) 1:30 p.m. (Sunny) 9:00 a.m. (Jane) 1:00 a.m. (Kevin)



Wakaba City, Japan



New Delhi, India



Edinburgh, the U.K.



Seattle, the U.S.A.

(2) (1) で話したことを書こう。

GET

GET から USEへ

GET Speakでは、ターゲットの文法事項を含む短い英文を**即興で発表**します。

USE Speakでは、聞き手を意識し、原稿を準備した上で、内容的に**まとまりのある英文**を発表します。

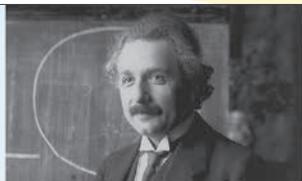
(1年 p.85)

に応じて、 を工夫し、**発表する**力を養います

7

Check 設定を確認しよう。

(どこで) スピーチコンテスト「The Great Person for Me」で
(何について)
(何を)



テキストタイプ

スピーチ / Show & Tell / プレゼンテーション / ビデオメッセージ など

目的や場面、状況を確認する

Check では、どんな目的や場面、状況でタスクに取り組むのか、**設定を確認**します。

発表の原稿作りは USE Write を活用

USE Speakでは、原稿づくりと発表がセットになった発表活動を行います。USE Writeで身につけたことを活かして、原稿を作ることで、負荷を減らし、準備した原稿を使った**発表の練習に特化**しています。

A good listener is a good speaker!

発表活動では、練習し自信をつけることが大切です。クラスやグループで練習するステップでは、聞き手が話し手にアドバイスしたり、質問したりすることで、よりよい発表になるよう改善します。

3. Write & Speak 原稿を書いて発表しよう。

Step 1 内容を考える

USE Write

紹介する偉人 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>			
	説明 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	理由 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	その他 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

Idea Box

【職業】
writer 作家 singer 歌手
actor 俳優 inventor 発明家
doctor 医者 nurse 看護師

【功績など】
help people in need
困っている人々を助ける
make a new discovery
新発見をする
take the first trip to ...
…へ初めて旅行に行く
write a beautiful poem
美しい詩を書く
become a star overnight
一夜にしてスターになる

【性格など】
brave 勇敢な smart 賢い
strict 厳しい strong 強い
patient がまん強い

いろいろな単語 付録pp.11-17

Step 2 考えを整理する

Opening	人物	
Body	説明 理由	
Closing	ひとこと	

Step 3 文章を書く

- あなたが紹介したい偉人について、スピーチ原稿を書こう。
- 陸のスピーチ原稿 (p.120) に書かれたメモを参考に、あなたの原稿に発表用のメモを書こう。

Step 4 発表する

- 発表の練習をしよう。読みづらいところがあれば、メモを修正したり書き加えたりしよう。
- 発表のあとにどんな質問が出るか考え、その答えを用意しよう。
- クラスやグループで発表しよう。発表が終わったら、質問したり感想を言ったりしよう。

p.120

person
respect
century
won ← win
prize
passion

Albert Einstein
アルベルト・
アインシュタイン
Nobel Prize ノーベル賞
Nobel ノーベル(姓)

one hundred and twenty-one 121



主対深

Tips for Speaking

グループで発表（スピーチやプレゼンテーション）の練習をする際の手順を示しています。司会者が、活動を進めるために使う表現も整理して提示しています。

司会者 Speakerを指名する	Speaker 発表する
 Let's start. Riku, could you go first?	 Sure. Hello, everyone . . .
司会者 質問タイムをとる	Listener 質問したり、感想を言ったりする
 Thank you, Riku. Kate, do you have any questions for Riku?	 What do you want to do with a time machine?
司会者	
 Good question, Kate. Thank you. Time's up. Thank you again, Riku.	

(2年 p.31)

教えやすい・学びやすい

小中連携

レッスン構成

言語活動

題材

その他

Take Action! Listen

聞くこと

ねらいを明確にした 目的や場面,状況に

場面設定

夏海(登場人物の姉)が留学しているカナダのバンクーバーを舞台に、さまざまなリスニングタスクを通して、**海外での生活**を疑似体験します。

聞く目的と テキストタイプ

目的

- 1 聞き手が**必要な情報**を聞き取る
- 2 話の全体的な内容(**概要**)を聞き取る
- 3 話し手が伝えたいこと(**要点**)を聞き取る

テキストタイプ

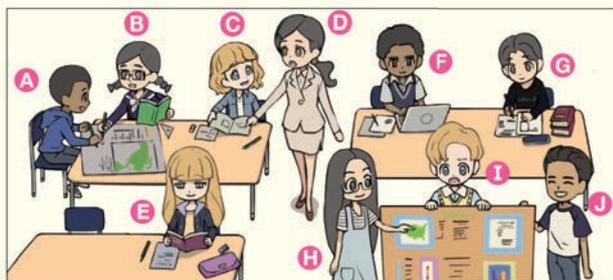
映画の予告／ボイスメッセージ／ニュース／天気予報／空港でのアナウンス／複数人の会話 など

GET

Listen

マークが、写真を見せながら友だちのジョン (John)、エミリー (Emily)、ブライアン (Brian) と話しています。A~Jの人物からジョン、エミリー、ブライアンを選ぼう。

- ① John () ② Emily () ③ Brian ()



(1年 p.85)

GET から Take Action! へ

GET Listenでは、**文脈のある短い英文**の中から、ターゲットの文法事項を含む文を聞き取ります。

Take Action! Listenでは、レッスンから独立した設定で、3つの目的に合わせた、本物らしい場面での**オーセンティック**なリスニングに取り組みます。

活動を通して、 応じて聞く力を養います

授業の流れ

STAGE 1 Get Ready

プレ活動として、場面の理解や、内容スキーマの活性化を図ります。重要な語句・表現を事前に導入し、内容に関する**キーワード**を聞き取ることへとつなげます。

内容語に注意して聞く習慣をつける

Expressionsでは、音声スクリプトに登場する語句・表現をピックアップ。内容に関わる語句に事前に注目させて、キーワードを聞き取る習慣をつけます。

STAGE 2 Listen

目的や場面、状況に合わせて、タスクに取り組みながら、**くり返し聞く**ことで、聞き取れる部分を増やし、長い英文のリスニングに耐える力を養います。

スクリプトを見て復習する

STAGE 2 の 3rd Listeningでは、**巻末付録に収録したスクリプト**を活用します。聞きっぱなしで終わらないよう、スクリプトで英文を確認しながら音声をくり返し聞き、聞き取れなかった理由を分析します。

STAGE 3 Think & Act

設定された場面や状況をふまえ、聞き取ったことをもとに、自分の考えや意見を整理し、話したり、書いたりして、発信する**ポストリスニングの活動**です。

パラレルタスクで 実力を確かめる

BONUS STAGE では、**STAGE 2** と**パラレル**なタスクに取り組み、リスニング力を確かめます。

デジタル



パラレルなリスニング

デジタル



Audio Scripts
付録pp.35-36



主 対 深



Audio Scripts スクリプト

Listen ③ 映画の紹介 p.92

Narrator:

“Magic Journey”

This is a story about twin wizards, Lisa and Ken. They live in a magic world on a high mountain. The twins love clocks.

One day, the twins hear a story about a magic clock. People can travel in time with it. They go on a journey and look for the clock.

Where is the clock? Come to the theater and find out.

Narrator:

“Detective George”

This boy is George. He is a ten-year-old detective. He lives in a big city in the U.K. George has a special power. He can talk with dogs. This is his dog, Jean. George and Jean solve many problems together.

One day, they meet a woman at the post office. She has a big problem.

Can George and Jean help her? Find out in a theater near you.

Take Action! Talk

話すこと [やり取り]

言語の働きを整 状況に応じて, 即

やり取りの目的

- ①円滑なコミュニケーションそのものを目的とし, **相手とよい関係を築く**ための即興でのやり取り
- ②特定の場面で, **特定の目的を達成**するための即興でのやり取り
- ③考えを伝えたり, 意見を交わしたりして, **議論を深める**ことを目的とした即興でのやり取り

Expressions

- ①質問する / 一言付け加える / あいづちを打つ / 聞き返す など
- ②道順をたずねる / 説明する / 誘う / 承諾する・断る / 好みを伝える など
- ③意見を言う / 賛成する / 反対する / 根拠を示して説明する など

Take Action!



ABC ケーキはどこですか

道順をたずねる

道順を説明する



Skit 道に迷っている海外からの旅行者に, 花が道案内をしています。



Excuse me.

How can I get to ABC cake shop?

Um, go straight on this street.

Then turn left at the second corner.



Turn left at the second corner.

Yes. It's on your right.

I see. Thank you.

Work in Pairs

1. 上のスキットをペアで演じてみよう。
2. 巻末のロールプレイシートを使って, A・Bの役割をペアで演じてみよう。



Sounds 英語のひびき

次の対話の音声聞いて, 下線部が上げ調子で発音されているときには手を上げ, 下げ調子で発音されているときには手を下げ, 気付いたことを話し合おう。

- ① A: Which do you drink for breakfast, milk, tea, or juice?
B: I drink orange juice.
- ② A: Where did you go in Japan this year?
B: I went to Nagaoka, Takamatsu, and Nagasaki.

straight turn left corner right where?

Expressions

道順をたずねる

How can I get to ...?
Where's ...?

道順を説明する

go straight
turn left [right] at ...
It's on your right [left].

WORDS

- excuse
- Excuse me.

um うーん

one hundred and seven 107

GET

Talk & Write

(1) 教科書の中から絵を1つ選んで, ペアでクイズを出し合おう。答える人は, 相手に質問して, どの絵を選んだか当てよう。

- 例 A: Who's in the picture? B: Hana, Dinu, and Jing.
A: Is Dinu using a computer? B: Yes, he is.
A: Are you looking at page 58? B: Yes, I am.

(2) (1) でたずねた質問とその答えを書こう。

- 例 Is Dinu using a computer? — Yes, he is.

GET から Take Action! へ

GET Talkでは, **即興**のやり取りの中で, ターゲットの文法事項を含む**短い英文**を発信します。

Take Action! Talkでは, 3つの目的に合わせた, オーセンティックなスキットを使って, 即興での**ペアワーク**に取り組みます。

(1年 p.87)

理し、目的や場面、 興で伝え合う力を養います

授業の流れ

Work in Pairs 1

Skitのモデル会話を理解し、ペアで演じます。

Work in Pairs 2

教科書の指示に従って、ペアで役割を決め、Skitを参考に**即興でやり取り**します。

即興でやり取りする力をつける授業

即興でやり取りするためには、「スキットを暗記する」だけでは十分ではありません。目的や場面、状況に応じてどう対応するか、考えなければなりません。

そのためには、質問→応答というような定型のやり取りのあと、話題に関連して、質問したり、気持ちを伝えたり、考えや感想を述べたりする経験を積み重ねることで、即興的な会話に対応できる話者を育てることができます。



谷口 友隆
(相模原市立大野南中学校)



Role-Play Sheet
付録pp.33-34



主 対 深



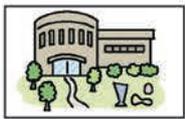
ロールプレイで練習する

生徒に異なる情報を与え、ペアワークにおける**インフォメーションギャップ**を作り出すことで、お互いに知らない情報を交換し合う、**オーセンティックなやり取り**の場を生み出します。



Role-Play Sheet ロールプレイシート

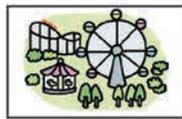
A あなたは、道に迷ってしまった海外からの旅行者です。Bは、わかば市の市民です。①～③から1つ選び、Bに話しかけ、そこまでの道順を教えてください。



① Midori Art Museum



② Wakaba Zoo



③ Crown Land

道順をたずねる

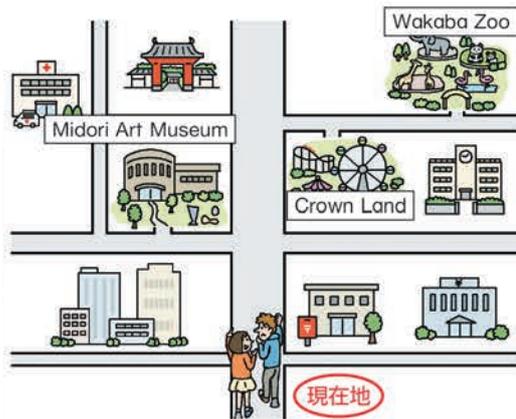
How can I get to ... ?
Where's ... ?

Idea Box

- Excuse me. (すみません。)
- One more time, please. (もう一度お願いします。)

ロールプレイシートを使った道案内のペアワークでは、Student Aには「行き先の候補」を、Student Bには「地域の地図」を与えます。

B あなたは、わかば市の市民です。Aは、海外からの旅行者です。Aに話しかけられたら、適切に回答しましょう。



Project

統合的な活動

技能(領域) 統合的 思考力・判断力・表



授業の流れ

複数の技能(領域) 統合型の活動

レッスンから独立した技能(領域) 統合型の言語活動を通して、既習の言語材料を活用する力を養います。

1. Listen

2. Think & Talk

聞いたことを参考に、自分のことについて考え、話し合う。

3. Read

4. Write

5. Speak

読んだことを参考に、自分の発表原稿を書き、発表する。

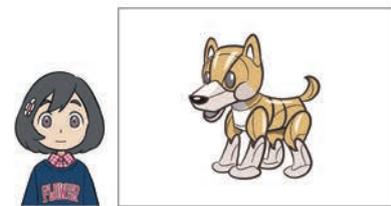


理想のロボットを発表しよう

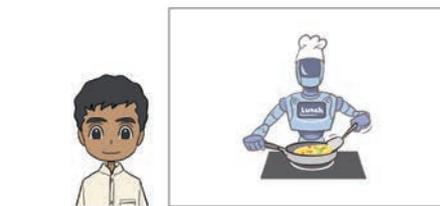


世界中の中学生が参加する「理想のロボットコンテスト」が行われることになりました。あなたの理想のロボットを考えて、コンテストで発表しよう。

1. Listen 花とディナーの発表を聞こう。



ロボットの名前: _____
できること: _____



ロボットの名前: _____
できること: _____

2. Think & Talk 理想のロボットを考えよう。

(1) 花のメモを参考に、あなたの理想のロボットができることやロボットの特徴を書き出そう。

花のメモ

あなたのメモ

できること・特徴:

- ・ペットの代わりにするようなロボット
→イヌ型
- ・おしゃべりすることができる
→いろいろな言語に対応
- ・いろいろな芸を覚える
- ・本物のイヌのような動きをする
→外を散歩することができる
→走りまわることができる

できること・特徴:

(2) (1) で書き出した内容について、ペアで話そう。

- ⓐ A: What can your robot do?
B: My robot can speak many languages.
How about your robot?
A: My robot can cook well.



見た目や機能についても考えてみよう。



66 sixty-six

中学3年間で
取り組む
プロジェクト
活動

Project 1

理想のロボットを
発表しよう

Lesson 1 Lesson 2 Lesson 3

Project 2

英語の
タウンガイドを
作るう

Lesson 4 Lesson 5 Lesson 6

Project 3

大切なものを
紹介しよう

Lesson 7 Lesson 8

Project 1

将来の夢を
紹介しよう

Lesson 1 Lesson 2

1年

な活動を通して、 現力を育てます

Check 設定を確認しよう。

(どこで) 「理想のロボットコンテスト」で
(何について)
(何を)



想像力をかきたてる テーマ設定

プロジェクトでは、想像的なアイデアを存分に活かせるようなテーマやトピックを設定しています。

テーマやトピック

「理想のロボットを発表しよう(1年)」では、友達ロボットや、料理ロボットなど、自分がほしいと思うロボットを考え、発表します。

「将来の夢を紹介しよう(2年)」では、将来したいことや、つきたい職業、理想の人物像などについて考え、発表します。

「日本限定アイスクリームを提案しよう(3年)」では、味や色、食感など、見たことのないオリジナルのアイスクリームを考え、発表します。

3. Read

花が書いた発表原稿を読もう。

Opening

● () This is my dream robot, Pochi Friend.



Body

● () It can run like a real dog. It can do many tricks.

● () It can also speak many languages.

Closing

● () You can be friends with it.

● Opening, Body, Closing に書かれていることをA~Cから選ぼう。

A まとめ B ロボットができること C ロボットの紹介

4. Write

理想のロボットの名前を考えて、発表原稿を書こう。

Opening

Body

Closing

5. Speak

理想のロボットを絵にかいて発表しよう。

Idea Box

[できること]

carry heavy things 重いものを運ぶ clean the room 部屋をそうじする
fly in the sky 空を飛ぶ jump high 高くとぶ move quickly すばやく動く
play with babies 赤ちゃんと遊ぶ wake you up in the morning 朝あなたを起こす

[形など]

big 大きい cool かわいい cute かわいい friendly 気さくな
small 小さい special 特別な strong 強い weak 弱い

Words

- robot
- like
- real
- also
- language(s)
- be
- with
- be friends with ...

いろいろな単語 付録pp.11-17



sixty-seven 67

Project 2

修学旅行のプランを提案しよう

Lesson 3 Lesson 4 Lesson 5

Project 3

ディスカッションをしよう

Lesson 6 Lesson 7

Project 1

日本限定アイスクリームを提案しよう

Lesson 1 Lesson 2

Project 2

国際交流イベントに出展しよう

Lesson 3 Lesson 4 Lesson 5

Project 3

ディスカッションをしよう

Lesson 6 Lesson 7

2年

3年

Project

統合的な活動

読んだことをもとに、 ディスカッションをす

中学卒業時の目標

話すこと[やり取り]の、中学2年と3年の学年の目標として、ディスカッションを位置づけています。

ディスカッションを成功に導くために、1年から少しずつ取り組んでいけるよう、話し合う活動を設定しています。

ディスカッションに向けた「話し合う活動」の流れ

Take Action! Talk

意見を言う、賛成する、反対する、理由をたずねる、説明を求める、根拠を示して説明する

USE Speak

グループで話し合う

Project

- ・ 修学旅行のプランを提案する
- ・ 日本限定アイスクリームを提案する
- ・ 国際交流イベントに出展する

ディスカッション

どうすれば、学校の隣にある空き地を有効活用できるか、市民の意見を読んで、自分の考えや意見をまとめて、ディスカッションする
(3年 Project 3)



ディスカッションをしよう

中学校の隣にわかば市が所有する空き地があります。その空き地の活用について、市民から寄せられた意見を読んで、どんな施設を作ったらよいか話し合おう。



1. Read わかば市のウェブサイトに掲載された市民の意見を読もう。

Service / Facility | Education | Visiting | Health | Help

HOME >>Survey>> Japanese | English

001 Big Park / Playground

It is important for children to run around and play outside. However, you cannot use balls in many parks. Playground equipment has been removed from some parks. Where and how can children play outside? We should make a big park and a playground. Then children can play freely.

002 Hospital

We need a hospital. We have to go to Midori City to get the latest medical treatment. In addition, these days, you cannot stay in the hospital for a long time. You have to go to the doctor a few times a week. This is becoming a serious problem as the number of elderly people increases.

003 Nursery School

The lack of nursery schools is a big problem in many parts of Japan. Wakaba City is not an exception. Even though the number of children is decreasing, we do not have enough nursery schools and teachers to handle all the babies and children who need care. If this continues, young people will leave our city.

004 Movie Theater

Our city needs something fun. We need something that people can do together. A movie theater is the answer. I can stream a film and watch it at home. This is different from watching a film at a movie theater. At a movie theater, I am part of an audience. I can experience the film with others. At a theater, the city truly comes together.

- Words
- equipment [ikwɪpmənt]
 - remove(d) [rɪmʊv(d)]
 - freely [fri:li]
 - these days
 - elderly [eldərlɪ]
 - nursery [nɜ:rsəri]
 - nursery school(s) [nɜ:rsəri sku:l(z)]
 - exception [ɪksɛpʃən]
 - handle [hændl]
 - stream [stri:m]
 - be different from ...
 - audience [ɔ:diəns]
 - come together

118 one hundred and eighteen

中学3年間で 取り組む プロジェクト 活動

Project 1

理想のロボットを
発表しよう

Lesson 1 Lesson 2 Lesson 3

Project 2

英語の
タウンガイドを
作ろう

Lesson 4 Lesson 5 Lesson 6

Project 3

大切なものを
紹介しよう

Lesson 7 Lesson 8

Project 1

将来の夢を
紹介しよう

Lesson 1 Lesson 2

1年

考えや意見を整理し、 る

Check 設定を確認しよう。

(何のために) 空き地にどんな施設を作るとよいか決めるために
(何を) する



主 対 深

社会的な話題と 調べ学習

社会的なテーマを扱う活動では、理由や根拠を具体的に考えられるよう、活動の中に調べ学習を取り入れられるようにしています。

2年 Project 2

自分たちの住んでいる地域のおすすめの場所などについて調べる。

2年 Project 3

地域活性化のためにできるイベントなどについて調べる。

3年 Project 2

アジアの国や地域で行われているイベントやそのテーマなどについて調べる。

3年 Project 3

自分たちの住んでいる地域の課題について調べる。

- (1) ウェブサイトに掲載された市民の意見 (p.118) を読んで、投稿した人がどんな施設が必要だと思っているか考えよう。
(2) ペアやグループで市民の意見を整理しよう。

Ideas	Good	Not Good
Big Park / Playground	<ul style="list-style-type: none"> 外でたくさん遊びたい子どもたちが喜ぶ 子どもたちの健康によい 	<ul style="list-style-type: none"> 遊具はないけど、大きな公園はある

2. Listen 陸たちのグループが空き地にどんな施設を作ったらよいかディスカッションをしています。聞いてみよう。

	Idea	Reasons
Riku		
Hana		
Kate		
Dinu		

3. Think Big Park / Playground, Hospital, Nursery School, Movie Theaterのどれに賛成ですか。2. Listen で出た意見をふまえて、あなたの考えを整理しよう。

Idea	Big Park / Playground	Hospital	Nursery School	Movie Theater	Others
Reasons					

4. Discuss 空き地にどんな施設を作るとよいか、グループで話し合おう。

one hundred and nineteen 119

Project 2

修学旅行のプランを提案しよう

Lesson 3 Lesson 4 Lesson 5

Project 3

ディスカッションをしよう

Lesson 6 Lesson 7

Project 1

日本限定アイスクリームを提案しよう

Lesson 1 Lesson 2

Project 2

国際交流イベントに出展しよう

Lesson 3 Lesson 4 Lesson 5

Project 3

ディスカッションをしよう

Lesson 6 Lesson 7

2年

3年

考えやすい・学びやすい

小中連携

レッスン構成

言語活動

題材

その他

キャラクターのはなし

魅力的なキャラクター

教科書では、個性的で国際色豊かなキャラクターが活躍します。本文だけでなく、小さな活動などにも同じ世界観を取り入れることで、キャラクターを友だちのように感じながら、身近なことや日常的な話題、社会的なテーマなどを通して英語を学んでいきます。

Mr. Oka (日本)

丘 大輔 (おか だいすけ)

わかば中学校の英語の先生。
ダンスを習っている。

Mark (アメリカ)

Mark Davis

運動神経がよく、テニスと
バスケットボールが得意。

Jing (中国)

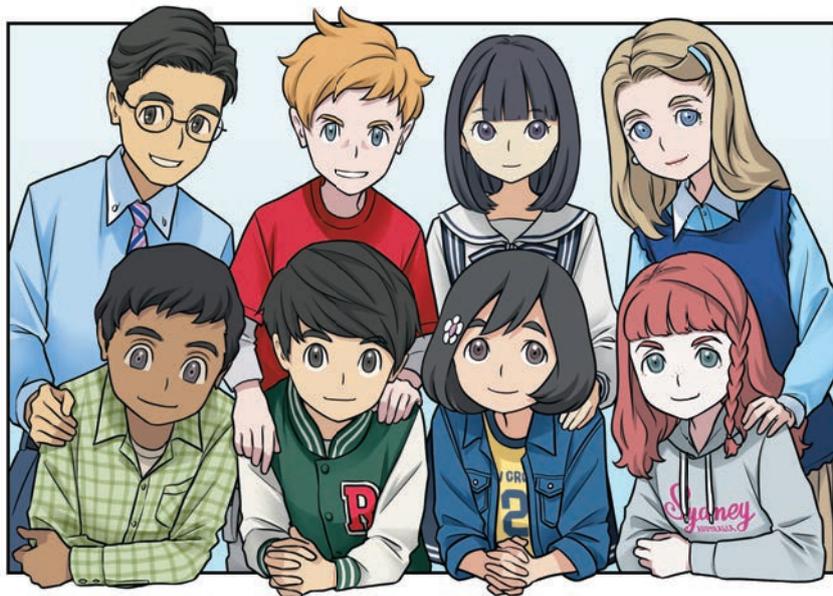
李 静 (リー・ジン)

流行に敏感。洋服や髪型
にもこだわりがある。

Ms. Brown (イギリス)

Lucy Brown

英語の先生。イグアナなど、
家にたくさんのペットがいる。



Dinu (インド)

Dinesh Sharma

日本語を勉強中。弟と一緒に
よく映画を観に行く。

Riku (日本)

加藤 陸 (かとう りく)

絵をかくこととカラオケが
得意。英語の歌をよく歌う。

Hana (日本)

田中 花 (たなか はな)

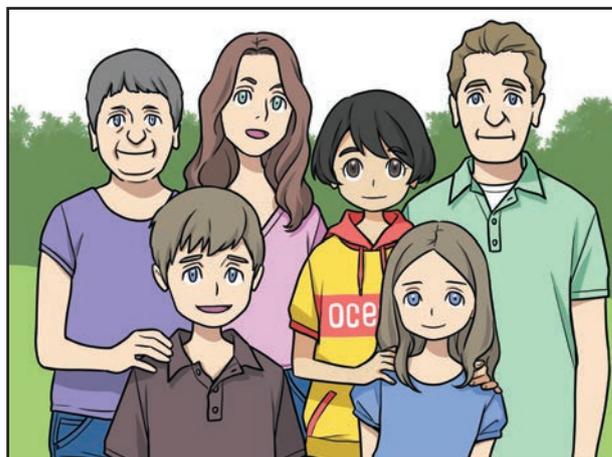
趣味はサッカーとお菓子作り。
野菜スイーツを考案中。

Kate (オーストラリア)

Katherine Jones

趣味で撮った写真は、賞を
受賞したことがある。

Take Action! Listen



Natsumi (日本)

加藤 夏海 (かとう なつみ)

陸の姉。高校1年生の時に、カナダのバンクーバーに
留学。現地の高校に通っている。学校のサイエンス
クラブに所属している。

グリーン家(夏海のホームステイ先)

オリビア(近所に住む祖母)

モリー(母)

ジョン(父)

マット(息子)

マリア(娘)

心にひびく 多様な題材

生徒の知的好奇心にこたえる題材, 人間教育に資する題材



- 生徒の知的好奇心や興味・関心,発達段階に合わせて, 題材を選定・配置しています。

▶ 深い学びにつながる題材選定の4つの柱

Language around the World

— ことばを使うことは, 思いを伝えること

Lives around the World

— かかわることは, 互いを認め合うこと

Think about the World

— 考えることは, 自分と向き合うこと

Learn about the World

— 学ぶことは, 自分の可能性を広げること

- ▶ 題材を通して, 現実のさまざまな課題に対応できる人材を育てます。
また, SDGsについて知識や考えを深めることができます。



SDGsとは

持続可能な開発目標(SDGs)とは, 2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され, 地球上の「誰一人取り残さない(leave no one behind)」ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず, 先進国自身が取り組むユニバーサル(普遍的)なものであり, 日本としても積極的に取り組んでいます。



題材 1

Language around the World — ことばを使うことは、思いを伝えること

多言語社会 インド



生徒の知的好奇心や興味・関心、発達段階に合わせて、題材を選定・配置しています。

Languages in India

(3年, Lesson 2)

いくつもの言語が飛び交う多言語国家、インド。ことばとどう向き合っているか、インド出身のデザイナーが紹介します。

自己紹介



About Me (1年, Lesson 1)

新しい友だちや先生との出会いを通じ、自分自身を伝えることや、相手に興味を持ち、お互いのことを知る喜びを学びます。

伝統芸能



Rakugo Goes Overseas

(2年, Lesson 7)

日本のユーモアと庶民の文化を世界に伝える英語落語家、大島希巳江さんの取り組みを紹介します。

異文化理解

Our New Friend (1年, Lesson 3)

インドからの転校生の話を通して、インドについて知り、日本との共通点や相違点を学びます。

文学

Peter Rabbit

(2年, Lesson 1)

ビアトリクス・ポターが書いたイギリスの絵本『ピーターラビットのおはなし』を楽しみます。



ことばと私

For Our Future (3年, Lesson 7)

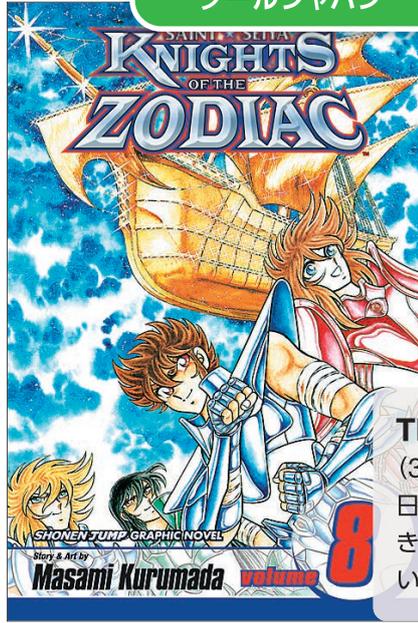
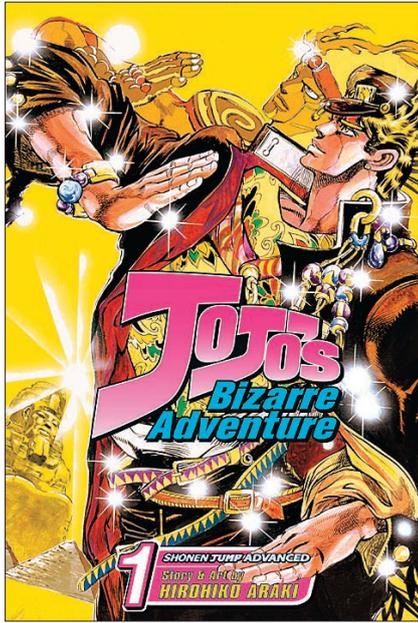
将来、どのように外国語とかかわっていくのでしょうか。3人の日本人の生き方から多様なかわり方について考えます。

Lives around the World

— かかわることは、互いを認め合うこと



クールジャパン



豊かな題材は、コミュニケーションで最も重要なメッセージを生み出し、自ら主体的に学び考える意欲を引き出します。

The World's Manga and Anime

(3年, Lesson 4)

日本の漫画とアニメが海外で人気が高まってきた理由を探りながら、文化の変化と伝播について考えます。

世界のくらし



Houses and Lives

(2年, Further Reading 1)

モンゴルのゲルなどを取り上げ、住居という観点から、世界の国や地域と多様な文化に対する理解を深めます。

国際交流



English Camp (1年, Lesson 2)

国際交流キャンプで、いろいろな国の生徒との対話を通じ、自分や相手についての相互理解を深めます。

伝統文化

Discover Japan (1年, Lesson 6)

オーストラリア出身のケイトが見た日本の文化(風呂敷, 花火, うどん)を、ケイトの視点から学びます。

異文化体験

Things to Do in Japan

(2年, Lesson 5)

姉妹校とのメールのやりとりを通して、海外から日本に来る人が、日本で体験したいことについて理解します。



想像と創造

Imagine to Act (3年, Lesson 6)

発明家の想像力や行動力の具体例を読んで、新しいものを生み出すときに必要な要素について考えます。

教えやすい・学びやすい

小中連携

レッスン構成

言語活動

題材

その他

題材 2

Think about the World — 考えることは、自分と向き合うこと

車いすバスケットボール



さまざまな題材を通して、ことばや文化への関心を高め、多様な社会に生きる人々のアイデンティティを尊重する姿勢を養います。

Wheelchair Basketball

(1年, Lesson 7)

車いすバスケットボール選手の網本麻里さんの来歴や思いに触れ、障がい者スポーツについて理解することで、自分自身や他者と向き合います。

オーストラリア



Uluru (2年, Lesson 4)

オーストラリアの世界遺産ウルルと先住民族の歴史について学び、観光と地域文化の尊重について考えます。

自然から学ぶこと



Learning from Nature

(3年, Reading for Fun 3)

自然界からヒントを得て、人々の暮らしを豊かにする「生物模倣(技術)」について学びます。

音楽の力



Stand by Me

(3年, Lesson 1)

好きな音楽について書かれたブログの記事を通して、人と人をつなぐ音楽の力について考えます。

環境

Green Festival (1年, Lesson 8)

環境問題について考えるイベントを通して、身近な問題について考え、問題解決に向けた取り組みを理解します。

将来の夢

My Dream (2年, Lesson 2)

将来は農家になりたいという中学生の花の考えを理解し、自分の将来の夢について考えます。

Learn about the World

— 学ぶことは自分の可能性を広げること

教
え
や
す
い
・
学
び
や
す
い

小
中
連
携

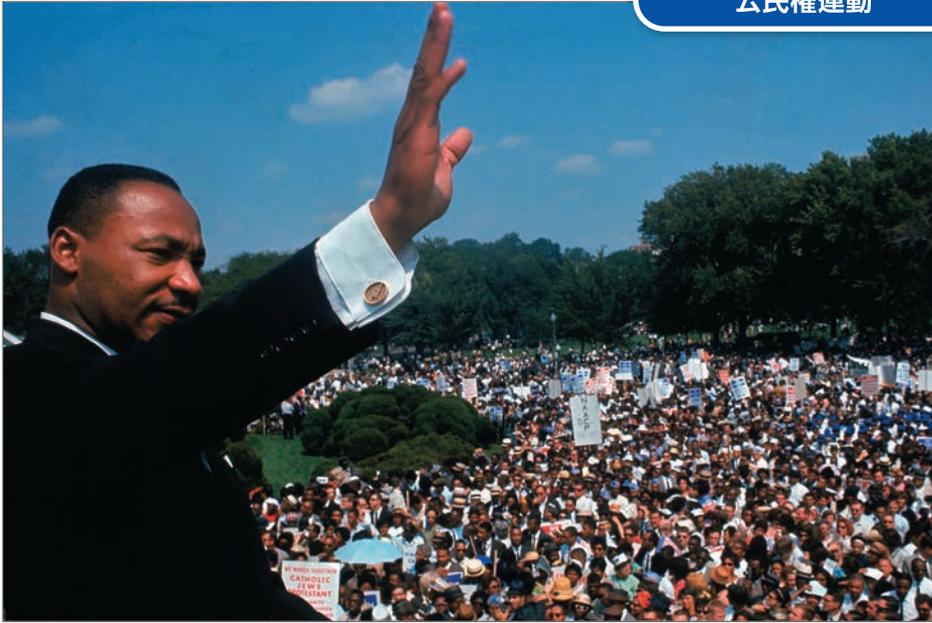
レ
ッ
ス
ン
構
成

言
語
活
動

題
材

そ
の
他

公民権運動



他教科等で学んできたことと関連のある題材を取り上げることで、協働的・対話的な学びや、深い学びを引き出します。

I Have a Dream

(3年, Lesson 5)

公民権運動を率いたマーチン・ルーサー・キング・ジュニアの生涯を通して、アメリカ社会と人権問題について考えます。

自然との共生



Every Drop Counts

(2年, Lesson 3)

電気をいらず、自然のしくみを利用して水を集めることのできるワルカ・ウォーター・プロジェクトについて学び、自然との共生について考えます。

平和



The Story of Sadako

(3年, Lesson 3)

広島で被爆した佐々木禎子さんの物語。世界中から広島に届けられる折り鶴にこめられた願いについて考えます。

イギリス

My Family, My Hometown

(1年, Lesson 4)

ブラウン先生の家族紹介を通して、イギリスの文化などについて知り、世界への興味を広げます。

アメリカの中学校

School Life in the U.S.A.

(1年, Lesson 5)

アメリカの中学校生活について知り、日本の中学校生活との共通点や相違点を考えます。

中国



Tea from China

(2年, Lesson 6)

中国出身のジンのいとこからもらったおみやげを通して、剪纸やお茶などの中国の文化に触れ、学びます。

題材 3

READING FOR FUN Further Reading

(RF: Reading for Fun / FR: Further Reading)



Alice and Humpty Dumpty (1年/RF)
『不思議の国のアリス』『鏡の国のアリス』



A Pot of Poison (2年/RF1)
原作は狂言『附子』。和尚と小僧の話



The Little Prince (2年/RF2)
サン＝テグジュペリの『星の王子さま』



Zorba's Promise (3年/RF1)
ネコのゾルバと、カモメのラッキーの物語



A Present for You (3年/RF2)
オー・ヘンリーの『賢者の贈り物』



A Vulture and a Child (3年/FR1)
報道か人命か。報道写真をめぐる論争



Enjoy Sushi (1年/FR)



Courage (2年/FR2)



A Moment of Peace (3年/FR2)

Reading for Information

目的や場面,状況に応じて,
必要な情報を読み取る力を育てる

CROWN STORE
August 1-31
Open 24/7

Stationery Summer SALE

Get ready for the upcoming semester!

Up to 50% OFF

スキヤニング

現実の場面に近い広告やパンフレットなどから、**必要な情報**を読み取る活動を行います。

Buy 3 Get 1 Free!!	Pencils \$2	Erasers \$1	Pencil Cases \$10 → \$7	Notebooks \$2 → \$1
Pens \$4	Decorative Tape \$5	Rulers \$4	Albums \$25 → \$15	Staplers \$10 → \$7
Marker Pens \$4	Clips \$2	Cards \$3	★ Get 5% off with a membership ★	

文具店のチラシ(1年)

何をプレゼントしたらよいか考えよう。

① **Kate**

- いろいろな色のペンを集めるのが好き
- 写真を撮るのが趣味しゅみ
- 好きな色は緑



テキストタイプ

観光マップ(1年) / 施設の利用案内(2年) / 公園の看板(2年) / サラダのレシピ(2年) / オンラインショップの商品紹介(3年) / ゴミの分別ルール(3年)

FOOD COURT MENU
Splash Italian

Pasta	Pizza
Seafood \$8.50	Hawaiian \$5.00
Meatball \$7.00	Pepperoni \$5.50
Sandwich	Seafood \$10.50
Ham & Egg \$4.50	Grilled vegetable \$6.00
Vegetable \$6.00	Teriyaki \$8.00
Side Dishes	Cheese \$6.50
All \$5.00	Beverages All \$1.50
French fries	• Orange juice • Coffee • Soda • Spr
Salad	• Apple juice • Green tea • Oolong tea • S

International Music Festival

December 15 - 28 @ Wakaba Hall

This year's theme is "happiness". We will look for music that will bring you joy. Please visit and enjoy the music.

Timetable	Special Concert on Dec. 21 (6-8 p.m.)
A.M.	There will be a solo concert by the world famous cello player, Tanaka Takuma. You can get the tickets on our website. ¥8,000 for adults, ¥6,500 for ages 14-18
9:00 Piano Concert	Concert for Kids
10:00 Quiz Tournament	We will hold concerts only for kids under age 10. You are free to sing and dance. Get tickets at the main counter. ¥1,000 per group (2-6 people)
11:00 Concert for Kids	
P.M.	
1:00 Musical	
2:00 Concert for Kids	
3:00 Piano Concert	
4:00 Concert for Kids	
5:00 Night Quartet Concert	

¥100 OFF / ALL FOOD
You can use this coupon at all restaurants in Wakaba Hall.

¥100 OFF / ALL GOODS
You can use this coupon at all shops in Wakaba Hall.

Special Gift
Get a cute key chain at GATE 2.

レストランのメニュー(2年)

イベントのチラシ(3年)

教えやすい・学びやすい

小中連携

レッスン構成

言語活動

題材

その他

QR コード

音声や動画を効果的に活用して学ぶ

5領域の力を総合的に伸ばすために、およそ**170箇所** (見開きに1つ) にQRコードを配置し、本文の音声だけでなく、学びを深めるためのデジタルコンテンツを用意しています。



語句



- life (p.83)
- choose
- own
- class(es)
- different
- schedule
- flute
- carry(ing)

本文

GET USE Read

Take Action! Talk など

Students choose their own classes at this school. Every student has a different schedule.

Look. This boy is going to his music class. He is holding a flute case. This girl is carrying her gym shoes for P.E. class.

リスニングタスクの音声

Take Action! Listen

STAGE 2 Listen

1st Listening 2つの映画の予告編を聞いて、それぞれのあらすじをまとめよう。

① Magic Journey



あらすじ

● ジャンル: ファンタジー

② Detective George



あらすじ

● ジャンル: ミステリー

活動のモデル

USE Speak Project など

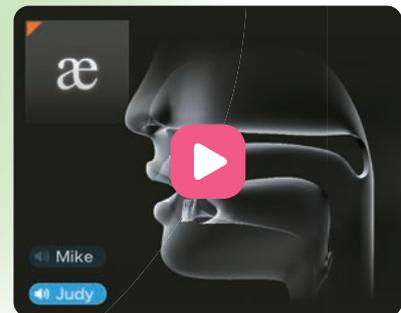


英語落語の 動画

Further Listening



発音の アニメーション



UD

[ユニバーサル
デザイン]

だれもが学びやすい教科書の工夫

年齢や性別、障がいの有無や能力を問わず、できるだけ多くの人々が利用しやすい教科書となるように、ユニバーサルデザインに配慮しています。

読みやすく、書きやすい書体を使用しています。

UD FONT

○書くためのモデルの英語

→ 独自開発した4線専用書体

I am Tanaka Hana.

○読むための本文の英語

→ ユニバーサルデザイン書体

I am Tanaka Hana.

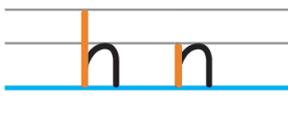
○読むための本文の英語

→ 独自開発したゴシック系書体

I am Tanaka Hana.

カラーユニバーサルデザインへの配慮

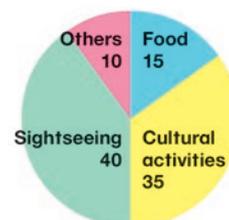
○ 良い書き方の例



だれにでも見やすい紙面になるように、色の組み合わせに配慮しました。



それぞれのパーツが明確に識別できるように、色の濃淡や野線を工夫しました。



色だけが識別の手がかりにならないように、記号や番号、文字などで補足しました。

拡大教科書の作成

弱視の生徒たちの学習上の負担を軽減するために、文字の大きさや書体、さし絵や写真の配置などに配慮した、拡大教科書を作成しています。

※ ボランティア団体等の「教科用特定図書等」の作成を支援するため、文部科学省を通して、教科書のデジタルデータの提供も行っています。

環境への配慮

環境の保護、資源節約のため、原料や製法に配慮した環境にやさしい紙と、大豆などの植物由来の植物油インキを使用しています。



発音

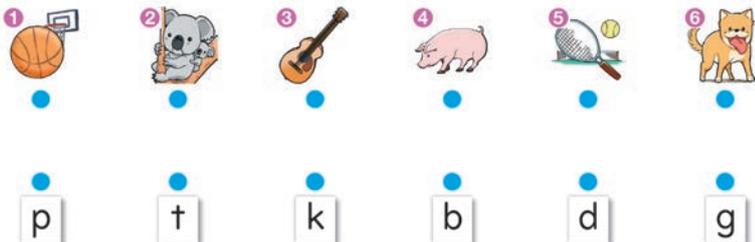
体験から知識, コミュニケーションへ

音から文字という小学校の学びをふり返り, 知識だけでは終わらない, 実際のコミュニケーションへとつながる活動を配置しています。



1年 Lesson 1~3

(1) 音声を聞いて, ①~⑥の絵が表す単語の初めの文字を下から選び線で結ぼう。



(2) p・t・kで始まる単語を発音するときと, b・d・gで始まる単語を発音するときでは, どんなちがいが共通点があるか話し合おう。

小学校での体験を 知識に変える

小学校での体験のふり返りから始め, 「aという文字には, /ei/と/aという音がある」というような明示的な気づきを促し, **理解**へとつなげます。

扱っている項目: 子音の文字と音 (p, t, k, b, d, g / r, l, m, n / thの2種類の音), 母音の文字と音 (アルファベットの名前と同じ発音, 違う発音), カタカナと英語の違い など

コミュニケーション へつなぐ音声指導

英語の音と文字の関係を学ぶ「英語のつづり」, イントネーションやストレスを学ぶ「英語のひびき」を設定しています。マジック e や文末イントネーション, 読み方や区切り方による感情や内容の変化などを扱っています。



Sounds (Take Action! Listen / Take Action! Talk)

次の対話文が, Bのイントネーションを変えて2回読まれます。1回目・2回目のBの表情をa/bから選び, ()に数字を書こう。

A: I heard you watched the new movie.

a()

b()

How did you like it?



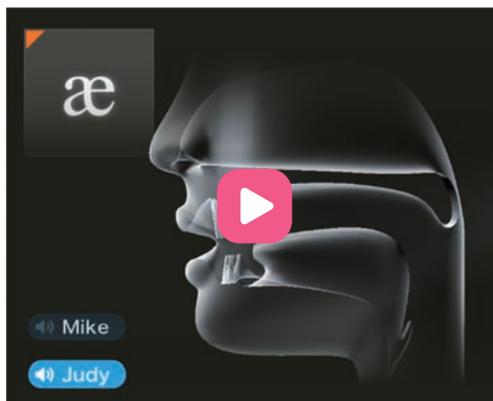
B: I like it.

扱っているもの: マジック e, 3人称単数の音変化, 内容語と機能語, 音変化(同化・結合・脱落), 音声感情, トーン・ユニット(意味区切り) など

〔付録〕 Sounds つづりと発音

子音字や母音字を表す音を, 発音記号とともに, 舌の動かし方や空気の出し方, 口の形などを3D化した「発音図鑑」で解説しています。**立体的な動画**を使うことで, 口頭での解説や紙上での表現が難しい発音を, 視覚的に理解し, 練習へとつなげます。

口の中の動きが視覚的にわかる



発音図鑑 © Fuminori Homma (東京外国語大学 根岸研究室 教材開発ユニット)

自律的 学習

自ら学び、思考を広げ、学びを深める

授業中の活動や家庭学習において、「使える」「学べる」付録を活用することで、自律的学習者を育てます。

For Self-study

付録
For Self-study 2 知らない単語に出会ったら

・英語で書かれた新聞やウェブサイトを読んでいて、知らない単語に出会うことはよくあります。そのような単語に出会ったとき、辞書を引く前に少し立ち止まって、単語の意味を推測してみましょう。

1. つづりが似ている単語から意味を推測する

つづりが似ている単語は、似た意味があると思ったりはなりません。例えば、use というつづりを持つ単語には「使う」という共通のイメージがあることを知ってれば、1つ1つの語の意味を正確に知らなかったとしても、文脈と共通のイメージから、単語の意味を推測しながら英文を読み進めることができます。

2. 単語の前半や後半に置かれたつづりから推測する

次のつづりは、単語の前半や後半に置かれて、特定の意味を単語に与えます。

単語の前半に置かれるもの	つづり	意味	例
	co-	共に	communication (伝えること、伝達), collaborate (共同で作業する), coworker (協力者), cooperate (協力する)
	re-	再び	recycle (再生する), replace (取りかえる), renew (更新する)
	un-	～ではない	unfamiliar (よく知らない), uncertain (確信がない)

単語の後半に置かれるもの	つづり	意味	例
	-er, -or	～する人	teacher (教師), employer (雇い主), leader (指導者), author (著者), doctor (医師), editor (編集者)
	-an, -ese	～国の(人)	Indian (インドの(人)), Australian (オーストラリアの(人)), Chinese (中国の(人))
	-ery, -ory	場所	bakery (パン店), factory (工場), laboratory (実験室)

学び方を学ぶ

生徒自身で英語を読み進めていくために必要な、未知語の意味を推測する、辞書を引くなど、**学び方を整理**しました。また、生涯学習への扉を開く「教室の外で英語に触れよう」を扱い、生徒を実際の英語でのコミュニケーションの世界へ送り出します。

- 1年 ①英和辞書を引いてみよう
- ②和英・英和辞書を活用しよう
- 2年 ③単語を覚えよう(単語の学習方法)
- ④知らない単語に出会ったら(未知語の推測)
- 3年 ⑤教室の外で英語に触れよう

基本文のまとめ

付録
基本文のまとめ

・LessonのPOINTおよびGET PlusのDialogで学習した文を取り上げています。
[1-1] = Lesson 1のGET Part 1で学習した文 [GP1] = GET Plus 1で学習した文

1-1	<input type="checkbox"/> I am Tanaka Hana.	<input type="checkbox"/> 私は田中花です。
	<input type="checkbox"/> You are a dancer.	<input type="checkbox"/> あなたはダンサーです。
	<input type="checkbox"/> I play tennis.	<input type="checkbox"/> 私はテニスをします。
	<input type="checkbox"/> You like sports.	<input type="checkbox"/> あなたはスポーツが好きです。
1-2	<input type="checkbox"/> Are you a baseball fan?	<input type="checkbox"/> あなたは野球のファンですか。
	<input type="checkbox"/> — Yes, I am. / No, I am not.	<input type="checkbox"/> — はい、そうです。/ いいえ、そうではありません。
	<input type="checkbox"/> Do you play rock?	<input type="checkbox"/> あなたはロックを演奏しますか。
	<input type="checkbox"/> — Yes, I do. / No, I do not.	<input type="checkbox"/> — はい、します。/ いいえ、しません。
1-3	<input type="checkbox"/> I am not good at the guitar.	<input type="checkbox"/> 私はギターが得意ではありません。
	<input type="checkbox"/> You are not in a band.	<input type="checkbox"/> あなたはバンドに入っていないですね。
	<input type="checkbox"/> I do not play baseball.	<input type="checkbox"/> 私は野球をしません。
	<input type="checkbox"/> You do not go to theaters.	<input type="checkbox"/> あなたは映画館へ行きません。
GP1	<input type="checkbox"/> What food do you like?	<input type="checkbox"/> あなたはどんな食べものが好きですか。
	<input type="checkbox"/> — I like rice balls.	<input type="checkbox"/> — 私はおにぎりが好きです。
2-1	<input type="checkbox"/> I can make puddings.	<input type="checkbox"/> 私はプリンを作ることができます。
	<input type="checkbox"/> I cannot bake cookies.	<input type="checkbox"/> 私はクッキーを焼くことができません。
2-2	<input type="checkbox"/> Can you dance?	<input type="checkbox"/> あなたはダンスをすることができますか。
	<input type="checkbox"/> — Yes, I can. / No, I cannot.	<input type="checkbox"/> — はい、できます。/ いいえ、できません。
GP2	<input type="checkbox"/> How many butterflies do you see?	<input type="checkbox"/> あなたは蝶を何匹見えますか。
	<input type="checkbox"/> — I see six butterflies.	<input type="checkbox"/> — 私は6匹の蝶を見えます。
3-1	<input type="checkbox"/> This is a dress.	<input type="checkbox"/> これはドレスです。
	<input type="checkbox"/> This is not a dress.	<input type="checkbox"/> これはドレスではありません。
3-2	<input type="checkbox"/> Is this Wakaba Shrine?	<input type="checkbox"/> これはわかば神社ですか。
	<input type="checkbox"/> — Yes, it is. / No, it is not.	<input type="checkbox"/> — はい、そうです。/ いいえ、そうではありません。
	<input type="checkbox"/> What is this?	<input type="checkbox"/> これは何ですか。
	<input type="checkbox"/> — It is a library.	<input type="checkbox"/> — これは図書館です。
3-3	<input type="checkbox"/> This is Wakaba-kun. I like him.	<input type="checkbox"/> これはわかばくんです。私は彼が好きです。
	<input type="checkbox"/> Who is this woman?	<input type="checkbox"/> この女性は誰ですか。
	<input type="checkbox"/> — She is Makiko.	<input type="checkbox"/> — マキコです。

文法事項の定着確認

それぞれの学年までに学んだ基本文をまとめてあります。左に英文、右に日本語訳を併記。チェックボックスを活用して、自律的に学びをふり返ります。

いろいろな単語

付録
いろいろな単語

・自分や身の回りのことについて、話したり書いたりするときの参考にしよう。
・巻の対話と語句を参考に、ペアで話してみよう。できるだけ長く会話を続けよう。
(※がついたカテゴリーや語句は、小学校で出会ったものです。)

☆数字	英	和	英	和
1	one	一	black	黒
2	two	二	white	白
3	three	三	brown	茶色
4	four	四	pink	ピンク
5	five	五	green	緑
6	six	六	purple	紫色
7	seven	七		
8	eight	八	spring	春
9	nine	九	summer	夏
10	ten	十	fall / autumn	秋
11	eleven	十一	winter	冬
12	twelve	十二		
13	thirteen	十三	January	1月
14	fourteen	十四	February	2月
15	fifteen	十五	March	3月
16	sixteen	十六	April	4月
17	seventeen	十七	May	5月
18	eighteen	十八	June	6月
19	nineteen	十九	July	7月
20	twenty	二十	August	8月
30	thirty	三十	September	9月
40	forty	四十	October	10月
50	fifty	五十	November	11月
60	sixty	六十	December	12月
70	seventy	七十		
80	eighty	八十	first	1日
90	ninety	九十	second	2日
100	hundred	百	third	3日
0	zero	ゼロ	fourth	4日

☆時に関することば	英	和	英	和
☆A: Which season do you like?			☆A: What day is it today?	
☆B: I like summer.			☆B: It's Tuesday.	
☆A: Which season do you like?			日曜日	Sunday
☆B: I like summer.			月曜日	Monday
☆A: Which season do you like?			火曜日	Tuesday
☆B: I like summer.			水曜日	Wednesday
☆A: Which season do you like?			木曜日	Thursday
☆B: I like summer.			金曜日	Friday
☆A: Which season do you like?			土曜日	Saturday
☆B: I like summer.			時刻	time
☆A: Which season do you like?			年	year
☆B: I like summer.			月	month
☆A: Which season do you like?			日	day
☆B: I like summer.			朝	morning
☆A: Which season do you like?			午後	afternoon
☆B: I like summer.			夜	night
☆A: Which season do you like?			午前	a.m.
☆B: I like summer.			午後	p.m.
☆A: Which season do you like?			誕生日	birthday

☆色	英	和	英	和
☆A: Which T-shirt do you like, pink or blue?			☆A: Who is the boy in this picture?	
☆B: Blue, please.			☆B: He is my brother.	
☆A: Which T-shirt do you like, pink or blue?			祖父	grandfather
☆B: Blue, please.			祖母	grandmother
☆A: Which T-shirt do you like, pink or blue?			父	father
☆B: Blue, please.			母	mother
☆A: Which T-shirt do you like, pink or blue?			兄弟	brother
☆B: Blue, please.			姉	sister
☆A: Which T-shirt do you like, pink or blue?			祖父	grandfather
☆B: Blue, please.			祖母	grandmother
☆A: Which T-shirt do you like, pink or blue?			両親	parents
☆B: Blue, please.				

「言いたいけど言えない」をサポート

活動で使える「日本語→英語」の**語句リスト**。やり取りや発表活動での、「言いたいことはあるのに、単語がわからないから言えない」をサポートします。対話例を使って、言語活動を始める前のスキーマ活性化にも活用できます。

他教科との連携

理解を深め,豊かな表現力を育てる

他の教科で習得した知識や技能を,外国語科での学びと結びつけることで,理解を深めたり,広い視野で思考・判断したり,表現をより豊かなものに行うことができます。

理科

2年 Every Drop Counts



中学2年で学習する,「霧や雲の発生」「飽和水蒸気」についての学習と関連させて,空気から水を作る題材について学びます。



社会

3年 I Have a Dream



人種差別や民族対立／国際社会の課題
(アメリカの公民権運動)

道徳

3年 A Vulture and a Child



人命か報道か／社会正義とは何か
(報道写真をめぐる論争)

家庭



地域の食文化
(飾り巻き寿司)

1年 Enjoy Sushi

国語



日本の古典芸能
(狂言 附子)

2年 A Pot of Poison

保健体育



スポーツと共生社会
(車いすバスケットボール)

1年 Wheelchair Basketball

音楽



音楽活動の楽しさ
(部活動)

3年 Stand by Me

技術



バイオテクノロジー
(生物模倣)

3年 Learning from Nature

教えやすい・学びやすい

小中連携

レッスン構成

言語活動

題材

その他

中高 連携

確かな英語力を, 高校へとつなぎます

小学校で体験した学びをふり返り, 中学校での学びへとスムーズに導く工夫だけでなく, 中学校で学んだことが高校での学習に活きるように, 自ら学びを調整し, 自律的に学習する力を育みます。

高校へつなぐ力

文法・語彙

高校の英語は中学校の言語材料がしっかりと習得されている前提となります。文法のまとめ／英語のしくみなどで確実な文法力を身につけ, Word Bank やいろいろな単語などで語彙力を広げることで, 高校の学習へのゆるぎない地固めをします。

(本書p.8, 22参照)

高校へつなぐ力

長文読解

高校入試や高校英語で扱われる英文は年々長文化の傾向にあり, まとまった量の英文を概要・要点をとらえながら, 読む力が要求されます。NEW CROWNでは, 3年の最後のUSE Readで375語, Reading for Funで473語の分量に耐える読解力を養います。

(本書pp.30～31参照)

高校へつなぐ力

学習習慣

語学は学校の授業とともに自分で学習することが大切です。学習内容の増える高校では, より自学自習が重要になってきます。さまざまな形での学びのサポートで, 高校の学習にスムーズに入れる自律的学習者を育成します。

(本書p.55参照)



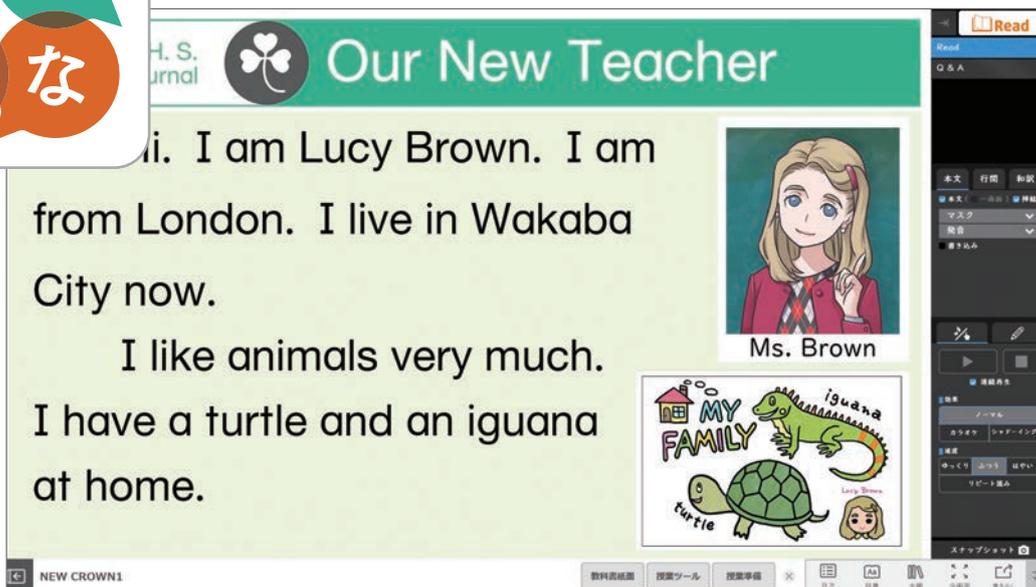
デジタル 教科書・教材

テンポのよい授業を 強力にサポートします



新しいプラットフォーム「ことまな」!

軽快な動作で、スムーズに授業を展開できます!



指導者用デジタル教科書

各活動の流れを焦点化して提示し、
テンポよく授業を進行することができます。

【主な収録予定内容】

本文音声／ピックアップカード／フラッシュカード／資料動画／モデル動画／Drillコンテンツ／教科書紙面／
各種アニメーションによる解説(USE Writeなど)／書き込み機能／マスク機能／発音図鑑／英和辞典／
フレーズ・リーディング／教材自作機能(MYスライド)／各種ファイルとの連携機能 など

※詳細は別紙のチラシをご参照ください。

学習者用デジタル教科書

紙の教科書と完全同一の内容になります。

【主な収録予定内容】

教科書紙面／書き込み機能／機械読み上げ機能

★録音音声は教科書紙面のQRコードからリンクされるウェブサイトとの連携で提供されます。

【録音音声の収録予定内容】

本文(Text)／新出語句(Words)／各種スクリプトの音声(Listen)など

学習者用デジタル教材

強力なパートナー企業／サービスと連携します!

AI, 音声認識を活用したデジタル教材で、スピーキングやライティングの学習がさらに充実します!

体験版URL

<https://tb.sanseido-publ.co.jp/03ncpr/digital/>

※パソコンのブラウザ(Chrome / Edge / IE11)でご覧ください。



授業をサポートする NEW CROWN の 指導書・指導用教材・生徒用教材

指導書 (Teacher's Manual)

① 総説編

教科書の編集方針や、構成と使い方などを解説しています。また、年間の指導計画や評価計画を作成する際に参考となるCAN-DOリストや学習内容の一覧、評価規準一覧表、小中連携資料も掲載しています。

③ ワークシート 基礎・基本編

レッスンごとに、ターゲット文や重要な語句・表現を練習する問題や、文法項目ごとに、理解度を確認する問題をワークシートにまとめました。知識を活用する力を問うような問題も収録。

⑤ ワークシート Listen & Read編

教科書のUSE Read, Reading for Information, Take Action! Listenに対応したワークシート。基礎的な力を養うタスクと、教科書の活動を発展させたパラレルなタスクを収録。

⑦ Teacher's Book

教師用指導書のエッセンス。授業に必要な「注意すべき語句・表現、文法、音声の解説」「音声指導」「リスニング・スクリプト」などを教科書の紙面に重ねてコンパクトに収録。

⑨ 指導者用デジタル教科書 Lite

教科書紙面の拡大縮小と音声再生等の機能を搭載した、指導書付属版の指導者用デジタル教科書です。本文、新出語句や表現、リスニングタスクの音声をご利用いただけます。

② 解説・指導・評価編

レッスンやパートごとに、指導のポイント、具体的な授業展開例や評価例を提示しています。「題材の背景知識」「オーラル・イントロダクションの例」「語句・表現の解説」「音声指導例」なども収録しています。

④ ワークシート 教科書活用編

教科書のDrill, GET Listen/Talk [Speak]&Write, USE Read, USE Write/Speak, GET Plus, Take Action! Listen/Talk, Projectの活動に合わせて書き込めるようにしたワークシート。

⑥ ワークシート アクティビティ編

コミュニケーション活動を活性化するためのアイデア集。教科書の言語材料の配列に合わせた活動ができます。コピーしてすぐに使えるワークシート形式になっています。

⑧ 指導用 音声CD / データDVD-ROM

音声CDには教科書のリスニングタスク用音声を収録。データDVD-ROMには、教科書本文と日本語訳、音声スクリプト、イラスト、ワークシート③～⑥のデータ、年間指導計画表などを収録。

指導用教材

ピックアップカード

教科書本文の場面や内容を、大型のカードにイラストや写真などで視覚化。教科書に掲載されていないイラストや写真を豊富に補充。

フラッシュカード

脚注に示した小学校で学んだ語彙と、中学校で学ぶ全ての新出語句(単語や連語)を収録しました。裏面には語句の意味を掲載しています。

指導用CD

教科書の全ての音声を収録。本文は、音読用のはっきり読まれた音声と、効果音付きで臨場感のあるナチュラルスピードのものを収録。

生徒用教材 (採用・店売品)

英語の基本文型

基本的な文型・文法の定着を図り、例文を暗記・活用するための整理帳。教科書の配列に準じ、左頁に英文、右頁に和訳の構成。

英単語集

教科書に出てくる全ての語句・表現を収録。教科書の本文を用例文として示し、本文を学習しながら単語が覚えられます。

教科書ガイド

教科書の内容を理解するための解説書。本文の日本語訳や学習のポイント、テスト直前の整理がわかりやすくまとめられています。





専用アプリ「ことまなS」を使って
音声を聞くこともできます。

生徒用教材(採用品)

ワークブック

語彙・文法・語法などを、セクションごとに確認するドリル練習や、基礎的な活用問題で構成された問題集。レッスンのまとめでは初見の長文問題も収録。

ドリルブック

教科書のDrillの類似問題で、POINTのターゲット文を集中的にドリル練習。レッスンごとに習熟度を確認するまとめの問題も収録。

ペンマンシップ+フォニックス

楷書体を中心に、アルファベットから英文の書き方を系統的に練習。フォニックスに対応した音声を使ったタスクも充実。

英語サブノート

新出語句や授業で学んだことを書き込む学習ノート。板書をまとめたり、文法事項を整理できます。

リスニングCD



教科書本文の音声と、POINTのターゲット文、新出語句の読みを、教科書の配列順に収録したCD。

辞書

初級クラウン英和辞典

全ての文部科学省検定済中学校英語教科書を分析して作られた、初級者向け英和の定番。



初級クラウン和英辞典

教科書だけでは足りない語彙を補って、自己表現をしっかりサポートします。



エースクラウン英和辞典

読みやすさとわかりやすさを重視した、時代が求める本物の「発信力」をつける辞書。



教科書 Q&A



Q 語彙の選択基準は?

A 令和3年度版では、文部科学省発行のWe Can!, CEFR-JのA1, A2, 主要辞書のコーパス、平成28年度版中学校英語の主要教科書での出現率、中学生の学習者コーパスでの出現率などを考慮して、語彙を精選、ランク付けしています。

→詳細は本書p.8参照

Q GETとUSE Readの本文の役割は?

A GETの本文は、文法の導入や習得を目的とした短い英文です。ターゲットの基本文の使われかたを、文脈の中で示しています。

USE Read の本文では、GET で導入された文法については、読む作業を通して、復習し、その定着を図ることができますが、主眼はあくまでも読むスキルを育成するための英文ととらえてください。

1レッスンを通して本文は、GETでキャラクターたちの実生活を活写しながらトピックについて身近に感じてもらい、USE Read でそのトピックについて深められるように展開しています。したがってUSE Read は読むスキル育成の場であるとともに、題材を通して思考力・判断力の育成を担い、人間的な成長を期待できる場でもあります。

→詳細は本書pp.26~27, 30~31参照

Q 教科書の分量が多いのでは?

A 原則として1見開き2時間を想定し、年間140時間のうちの約75%の時間配当で、余裕を持って取り組めるよう配慮しました。全体を通して下記の配当となっています。

1年111時間、2年103時間、3年100時間

教科書には、コアの部分とそうでない部分、授業で扱う部分と自学自習に資する部分など、情報量は多く示されていますが、記述されている内容を全て一律に取り扱うのではなく、各学校の目標や生徒の実態などに合わせて、メリハリをつけられるようになっています。

Q 全部扱うと時間が足りないのでは?

A 取り扱う内容と生徒の自学に任せる内容とのバランスを考え、文法のまとめ、For Self-study, Tips for ... など、生徒自身が読んでわかる情報は軽く触れ、その分、教室で英語を使っての言語活動にあてる時間を増やしていただきたいと考えます。

また、生徒の実態に合わせ、以下のようなメリハリをつけながら、進めることもできます。

- ①GETとUSEのメリハリ(基礎基本の部分と活用の部分に軽重をつける指導)
- ②語彙のメリハリ(太字=発信語彙、細字=受容語彙となっているので、それぞれの重要度を意識した指導)
- ③言語活動のメリハリ(活動は全員発表まで持っていくもの、宿題とするものなど)

▼NEW CROWNの教科書サイズは黄色部分と同じA4判です。

■著者

根岸 雅史 東京外国語大学
日臺 滋之 玉川大学
松沢 伸二 新潟大学
竹内 理 関西大学
今井 裕之 関西大学
酒井 英樹 信州大学

高橋 貞雄 玉川大学名誉教授
Thomas Hardy 明治大学

堀田 龍也 東北大学

池田 周 愛知県立大学
池野 修 愛媛大学
大島 希巳江 神奈川大学
榎葉 みつ子 広島大学
金丸 紋子 カリタス女子中学高等学校
工藤 洋路 玉川大学
坂本 ロビン 杏林大学
佐々木 顕彦 武庫川女子大学
佐藤 臨太郎 奈良教育大学
三野宮 春子 大東文化大学
重松 靖 国分寺市立第二中学校
杉本 薫 元 東京都立両国高等学校附属中学校
鈴木 悟 東京都立両国高等学校
田嶋 美砂子 茨城大学
田中 武夫 山梨大学
田邊 祐司 専修大学
谷口 友隆 相模原市立大野南中学校
津久井 貴之 お茶の水女子大学附属高等学校
中島 真紀子 筑波大学附属中学校
中西 浩一 平安女学院大学
廣森 友人 明治大学
Matthew Miller 東京外国語大学
松宮 新吾 追手門学院大学
望月 正道 麗澤大学
森 千鶴 福岡教育大学
山本 崇雄 新渡戸文化小中学校・高等学校
横川 博一 神戸大学
吉田 晴世 大阪教育大学
和田 朋子 工学院大学
巨理 陽一 静岡大学

株式会社三省堂

■校閲

[特別支援教育]
笹森 洋樹 独立行政法人国立特別支援教育総合研究所
[カラーユニバーサルデザイン]
溝上 陽子 千葉大学
[文字]
手島 良 武蔵高等学校中学校
[英文]
祐乗坊 由利 ジョディー 玉川大学

■編集協力

麻生 雄治 宮崎公立大学
池田 真生子 関西大学
伊藤 由紀子 大阪成蹊大学
植木 美千子 関西大学
内野 駿介 北海道教育大学
加藤 茂夫 新潟大学
後藤 信義 中部学院大学
小橋 雅彦 ノートルダム清心女子大学
坂本 南美 岡山理科大学
階戸 陽太 北陸大学
鈴木 祐一 神奈川大学
立川 研一 大分大学
東矢 光代 琉球大学
中西 美保 二宮町立一色小学校
鳴海 智之 兵庫教育大学
箱崎 雄子 大阪教育大学
橋本 健一 大阪教育大学
山内 優佳 広島文化学園大学
横田 玲子 神戸市外国語大学
和田 順一 松本大学

溝上 慎一 桐蔭学園
村田 美和 高崎健康福祉大学

反田 任 同志社中学校
米田 謙三 関西学院千里国際高等部

(ほか中学校教員など95名)

■表紙イラストレーション

IC4DESIGN

■装丁・本文デザイン

GRID

■キャラクターデザイン・イラストレーション

箕星 太郎



令和3年度版

三省堂 中学校英語教科書 NEW CROWN ウェブサイト

この資料の内容に加え、編修趣意書、指導・学習内容一覧、小中連携資料、デジタル教科書(教材)の体験サイトなど、さまざまな情報を掲載しております。



<https://tb.sanseido-publ.co.jp/03ncpr/>

三省堂

〒101-8371 東京都千代田区神田三崎町2-22-14 TEL 03-3230-9411(編集)・03-3230-9556(営業)

大阪支社 〒530-0002 大阪市北区曽根崎新地2-5-3 TEL 06-6341-2177

名古屋支社 〒460-0002 名古屋市中区丸の内3-21-31 協和丸の内ビル2F TEL 052-953-9211

九州支社 〒810-0012 福岡市中央区白金1-3-1 TEL 092-531-1531

札幌営業所 〒060-0042 札幌市中央区大通西15-2-1 ラスコム15ビル3F TEL 011-616-8722